



本鳳瑞 總集篇

ADULT ONLY

And Then Nothing 003~066

Expainful 069~136

Turned Inside-out 139~224

Ingredients: Zuihou, Ryuujou,
Houshou, Netorare, Immoral,
Madness, Outdoor, Hardcore,
Dark, Cheating, "Pure Love"



AND THEN
NOTHING



ニギハリス

てーとくっ

何だか今日は……
激しいねっ……!

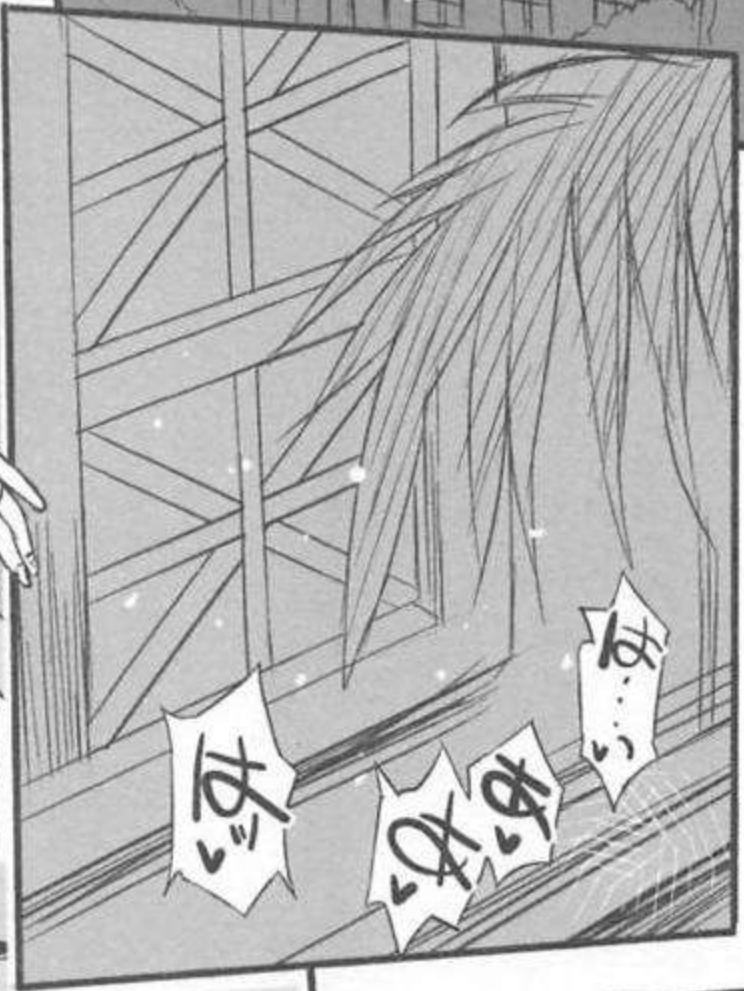
はーい

はい

メキョウッ

面倒な執務が一つ
片付いたからな

これで暫くは
二人でゆっくり
できるぞ……



は……

あ……

あ……



勿論……!

瑞鳳っ、
そろそろっ……

いよいよ……
全部出してね

メキョウッ
♡



じゃ、遠出とかも
できちやったり
する?



良かった……

は……

あ……

あ……



明日は完了の報告に
本部に出かけるから
……お前もどうだ？



私はいいかな
元帥さん苦手だし

ははっ……敵しいが
いい人だよ

その敵しすぎるのが
苦手なの



帰ってきたら
美味しいもの
食べに連れてってねっ？

はい、本官は
早期撤退の後、
その任務を
遂行致します

またそんな
言い方して……



それじゃ、その間
お留守番しちやいますか



ど、言つても
平和なのは
いいんだけど
ヒマなのよねえ……



いい天気ねえ……

提督がいけないから
演習もできないじ

誰か誘って
散歩でもしようかな



って龍驤!?!?
昼間から何して……

それに関係者じゃない人
鎮守府に入れちゃダメでしょ!



あら、何の音?



それで今日は
会えるのかな？
その……
瑞鳳って子



どうなの？
龍驤君



勿論やで……っ
だからっ
後生やからっ……

えっ、私っ……？



いくら彼氏さん
だからってそんな事……

龍驤ってば気が
抜けすぎじゃないのっ？



解解
つた
お礼はちゃんと
してあげないとね

あ……はあっ……





— 帰ったよ、鳳翔



あら、お帰りなさい
……あなた

ええっ……？

えっ……そっちはど
さっきの……は……

あれが奥さんの
鳳翔さん、結構昔
艦娘だったんだってさ



なんか……
私、早とちり
しちゃったみたいねえ

龍驤……と、その……
シてたのって……

ホントな……
しゃっきりせや

おは……



この島を
平和にしてくれた
お礼とっては
なんだけど……
ご馳走させて頂戴

そういう事ね
でも本題はこっち

わ、ポン酒やん！
久々に見たわ



昔、あなたの提督には
お世話になった事も
あるのよ？

ああ……それで
旦那さんが
挨拶に……



初めまして、
妻の鳳翔です
話は聞いていたわ

でもこの人が……



ほ、本当に
こういふのって
あるんだ……

オトナの
関係ってヤツ
なのかな……



あ、あの……
夜には帰らないと
いけないんで
そんなには……

コレ、私が一番緊張
してるじゃない……

そうだったのか、
連れて来て
悪い事をしたね

勿論、構わないわ
一杯だけでも
いいから、ね？

解りました……

なんで、龍驤と
この人は平気な顔で
いられるのよあ……

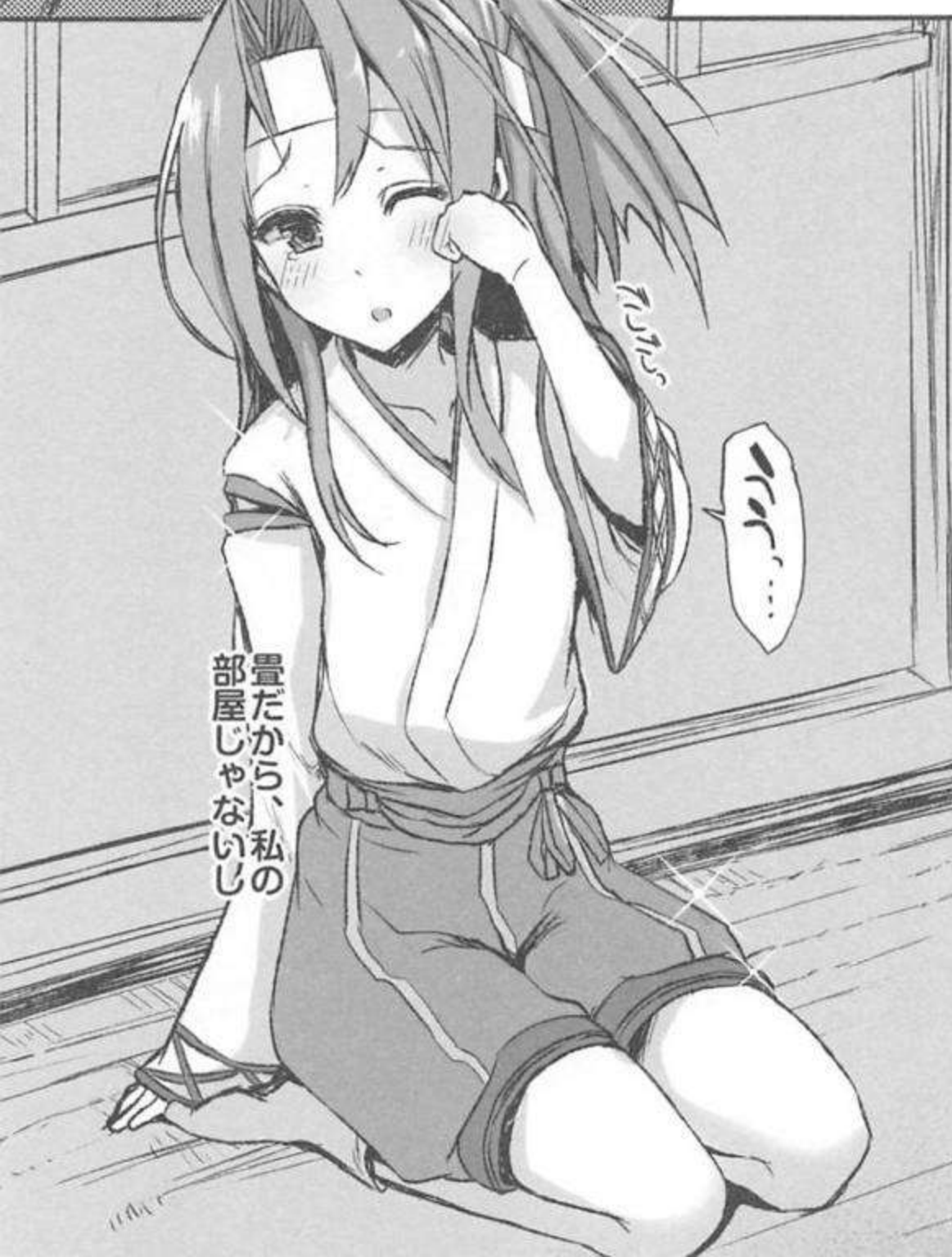


ええい、とにかく一杯飲んでおつまみ食べて早期撤退するんだから……!

お、イける口かね瑞鳳君は

これは楽しくなりそうだ

あ、美味しい……



あれ……今、何時
つていうか
ここどこかな……

畳だから、私の部屋じゃないし

おほ……目が
覚めた様だね



なっ、何っ
何なのよおっ……



やっと倒れたと
思ったらそれから
起きるまでが長いし
艦娘相手は
分量が難しいね

えっ……



龍驤君、
どうだ？

なっ……何これっ
また龍驤が……



少し待っていてくれ
こっちを終わらせるから

ほらっ、ほら……
これでどうだい？
瑞鳳君にも
見てもらおう

うわっ……
滅茶苦茶にされて
呻いて……

ウチ、もうダメっ……
ダメになっちゃ……

女の子って、あんな声
出ちゃうの……っ？

ちよっと違うな……
龍驤君はとっくにダメに
なってたんだよ

僕の女になった
時点だね







ひっ……は
離して……

そう言われると
余計に……ね

それじゃ、失礼して……
瑞鳳君はケツコン済み
だったね

うそっ、うそっうそっ!!
提督以外の男の人の手が……
私の身体に……

カッ

カッ

カッ

カッ



ちよつとお酒飲んで
おつまみ食べた
だけなの……

身体がまだ
鈍い内に脱がして
おかないとね……

カッ



いきなり当たり前
みたいに触ってっ……

提督とは経験が
あるだろうから……
龍驤君より楽そうだ

き、気持ち悪いっ
何なのよ……

カッ

カッ

カッ

ヒッ

ヒッ

こんな事になるなんて
ウソでしょ……

本当ね……
少し羨ましいわ

これで
歴戦の勇者
なんだから
驚くしかないよ

凄くキレイな
肌だ……

逃げないとっ
私、この人に……
無理やりっ……
犯されちゃっっ

こっちの反応も
いいねえ

触った瞬間に
まわり付いて
柔らかく締める様な
動きだ……

やだっ……
触られちゃっ……

提督に愛されたのを
身体が覚えている
のかな？

怖……

……

多分、昨日も
愛されてるね

あら、
お盛んなのね

そうみたいだ……
可愛い顔でする事は
している様だ

何でそんな事が……
解るのっ……

ど、どうして……
こんな事をするのっ……

今やめる……なら
黙っておきますから……

それは
できないわ……

はあ

これは

あなたに女の悦びを
ちやあんと
教えてあげる為に
必要な事なの

な、何を言っ……

この人に
愛されれば
解るわ……

鳳翔、啜えて
濡らしてくれ

っ！あんな顔の
近くに男の人の……が……



うっうあっ……口で
食っちゃって……

あんな事が
できるなんて……



……

……

……

……



鳳翔、もういいよ
それ以上されたら
保たなくなりそうだ

……

律儀な人ね

力が……せんせん
入らないっ……!



あなた、一晩中何度も
出来るじゃないですか……

今日はいいかな……
約束がある様だから
夜の内には
帰ってあげたいからね

熱だけが異様に
伝わってきて...

116!!

116!!

どうして
こんな事...!!

思ったより
全然スムーズに
根元まで...

116!!

ほら、瑞鳳君
入っていくよ

つと...
これはこれは

116!!

驚いた、提督も
相当良いモノを
持っている
みたいだね

116!!

私っ...
悪い事なんか
してないのに
なんでっ...

自信、
なくしました?

これから
挽回するよ

こんな
きついっ...

116!!

116!!

116!!

116!!

116!!

116!!

提督と違ってっ……
無理やり身体を
潰すみたいだに
揺すつてきて……っ！

近くで魚雷が
爆発した時みたいに
お腹が震えるっ

まあ、コレなら
最初から
強めにしても
大丈夫そうだね

ほら、どうだい？

こういうのは
あまり慣れてない
みたいだね

とても優しく
抱かれてる様だ

瑞鳳君の王子様は
扱い方も解ってるね

イヤっ、
いやあっ！

こんなに小さくて
可愛いんだ……

身体っ
壊されちゃうっ……

声が詰まってるっ……
変にっ……！

それは
当然だろうね

身体も気持ちも
根元の方がひどく
悲鳴を上げて

こんなにも最初から
馴染むなんて……

こっちが
瑞鳳くんより先に
夢中になりそうだ

それじゃ、このまま
奥に思いつきり
出すよ？

首が絞められてる
みたいに苦しくてっ
息が詰まる……

それだけは
絶対ダメっ！
私は提督のっ
お嫁さん
なのっ……

アフターピルも
あるし、大丈夫だよ





アッ！アッ！アッ！

嫌めしー！

アッ！アッ！アッ！

そらっ！

アッ！

アッ！アッ！アッ！

アッ！



こんなのっ、遊ばれてるっ……

冗談だよ、そこまで嫌がる事ならしないさ

あ……？

あ……？

あ……

あ……

……私っ……オモチャにされてっ……



……それじゃ、今日の所はコレ位にして

あなた、一応……

ああ、そうだね



ごめんね提督
ちよつと
お誘いがあったね

お帰り、ちよつと
遅かったんじゃないか



龍驤から和食の
お店やってる鳳翔さんを
紹介されてね……
提督の知り合いだって

ああ、鳳翔か……
元気にしてたか？

……そうか

うん



ご飯はそこで
ご馳走になったから
お外で食べるのは
明日にしましょ

解った



今日でおしまい
 だったら良かったのに……

バシては
 ないよね……

おき

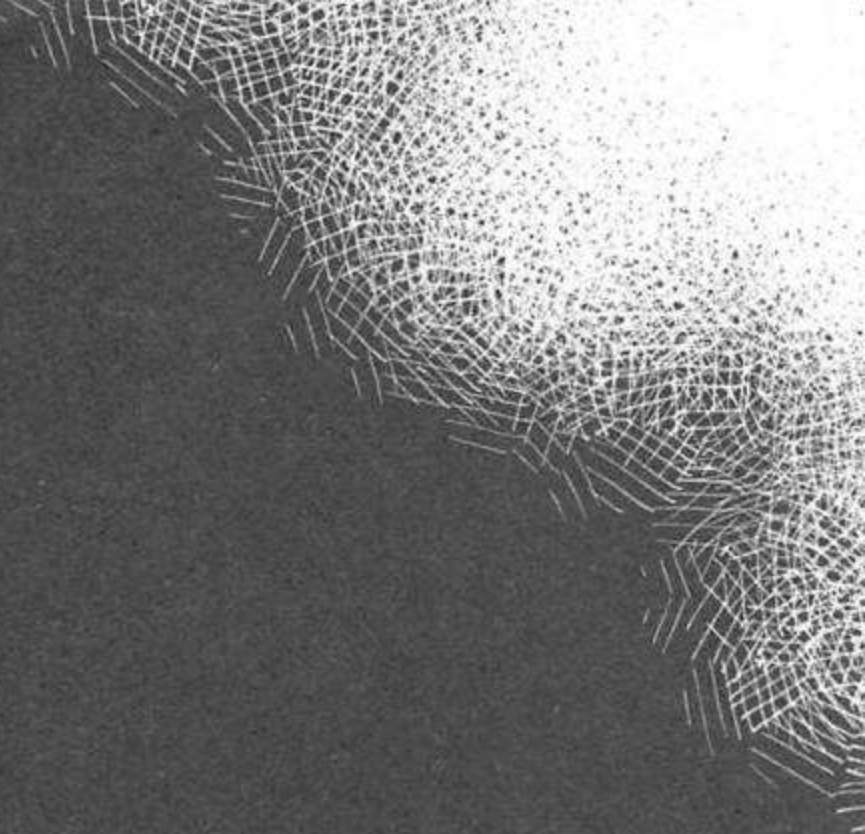


私……どうすれば
 いいのよあ……

……そうね、
 二週間で許してあげる



また来て頂戴
 ……いいわね



AND THEN NOTHING





1-2

本当は落ち着くまで
待とうと思ってたんだが

皆が早くやれ、と
うるさいし……

貯えもそこまで
無いから色々使ったら
会場は食堂位しか
選択肢がなあ……

ううん……
いいの

提督も良く
隠し通せたね……

ずっと秘書艦だったのに
全然気付かなかった……

皆の協力に感謝だ
艦娘より内偵に
向いてるかもな

……それで
どうだ瑞鳳？
驚いたか……

でも……
本当に、ありがとね

もう、色々
突然すぎて
解らないけど……





ちゅんちゅん……

その話は
やめてっ……

—その後は
最前線から引かされて
少数の艦娘とこの島を守る
任務に就いてるみたい



長年、前線で貢献した
みたいだから
上層部の心遣いね

こんな……
されちゃっこの時……

なるほどね

思い出したく
ないよあつ……



それなら暇な時間も多そうだし、僕にも都合だ

解ったのはそれ位かな？

ええ、この娘から聞いた事と、昔の経験を照らし合わせてもこれ位が限界ですね

十分だよ、鳳翔

そもそも聞き出したい情報があるわけじゃないから

目の前の瑞鳳君に集中するのが一番の様だ

じゃあ、なんでこんな事するのよおっ

後ろから突かれるといい反応をする……

僕の顔が見えない分繋がってる所に集中できるのかな？

後ろからでも大分身体が開いてきた様だね





提督に抱かれてると
身体が勘違い
してるのかもね

ちがつ…
提督はっ…
こんな事したり
しないわよっ…!

は
あ
は



まだ喋る余裕が
あるのか…
凄い体力だね

何度も何度も
犯されるのは
耐えられるけどっ



鳳翔でもここまで
保つかな?
…益々気に入った

ただ、今日の所は
これ位にしようか

提督の話…
されるのイヤあつ…

は
あ
は

最後だよっ……
そらっ!

アッ!

アッ……

怖いっ……

避妊具越しに
熱が伝わってきてっ……
お腹に熱いのが来てるのに

身体に
寒気が走って
気持ち悪いっ……

けどっ……
今日も終わった……

アッ アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ





明日は提督に
会わせて
くれるんだっけ？

はい…

私は大丈夫…

あと、十日間だけ
なんだから…

楽しみだね…
なんと…



これは一種の
惚気ですか

え、あ…
いやそういうつもりは
無かったんだが



—あなたは
この島の英雄の
ですからねえ

そんな事はないよ
たまたま運が
向いただけさ

また謙遜を



いやいや、
いいですよ

それに、瑞鳳さんは
本当に優秀ですから…
物覚えが本当にいい

ウチの鳳翔も
感心してましたよ

……そうですか



その優秀な娘に任せて
僕は気長に待ってた、
……それだけだ

こんなに楽な
仕事はないな

……もう



あ...
あ...

ここが瑞鳳君の
部屋か.....

大事にされている割に、
こじんまりとした
部屋だね

と、当然よ.....
私事だけで部下を
優遇とかする様な
人じゃないんだから



長い時間こんな
えげつない玩具を
啜えてたら、
当たり前か



ふむ、
そういうものか

今日は今までより
昂ぶってるね

それだけじゃ、
なさそうだけど

私の部屋に.....
提督以外の
男の人がいる.....

あ.....

酷い違和感.....



そうじゃなきゃ
最初からこんな
ならないよ

イヤらしい
女の子だね……

そんな事……
とにかく私は
バレたくない
だけ……

瑞鳳君、
興奮したんだろう？

提督に隠れて
玩具を楽しんで

その上別の男に
自分の部屋で
抱かれる……

大丈夫……
解るよ、僕も凄く
興奮してるからね

こんな、私の事
好き勝手言ってる……

何なのよおっ

これからは
もうちよつと
凝った事をしよう



その水着
似合ってるね……

司令官に
水着でも見せに
行ったんじゃない？

ま、見慣れてる
だろうけど

それから……
場所も時間も
選ばなくなってきた

いいからっ、
早く済ませて……



おーい敷波
づぼづぼは
どこ行った？

あれ、
知らないけど



一日に一度は
この男の人に
抱かれ続けた

いやあ、この身体を
好きにできる提督が
羨ましいよ

まー、下手に口出しして
邪魔したら悪いしなあ！



おっ、急に
締まってっ……！

折角見せるなら
もっとパリエーション
あっていいと思うけどね

私達が気にする
事じゃないし
まあ、いいんだけどさ

ちゃんと外に
出してっ……

瑞鳳君には
こんな隠し玉が
あったのか……



こんな暑い日にランニングなんてしたら身体に悪いよ？

こういう事の方が悪いわよおっ！！



瑞鳳くん

それ以外でも偶然はったり出会った時でも家に連れ込まれて



ああ……なるほどね



それにっ……

演習だけじゃっ……身体がなまっちゃやうでしょっ



そのまま何度も何度も……

それじゃ、運動を手伝ってあげないとね

勿論提督にも
求められている...

身体の感触で
ハレたりはしないか
不安だけど...

私もっ...
凄く...

気持ちいいよっ
瑞鳳っ!

提督とのエッチは
前と変わらないし
気持ちいいし...

とても
安心する.....

そろそろ
行くよっ.....

さ、今更だ.....



キーン

キーン

グッ



ああ...やっ...

わあ



こんなの...
すごい

グッ...
凄く締まって

だ、大丈夫か
瑞鳳...?



また……こんな
ヘンタイみたいな
事を考えてっ……



瑞鳳君

直接外の空気に
触れながら、
というのでもいいだろう？



こんな事っ……
したって何も
変わらないからっ……



成果って……

瑞鳳君もノって
来たって所かな



これは昨日と
反応が違うね



成果が出てきた
感じだ……



アッ...

そんな事っ...
あるわけないよあつ...

アッ...

...提督にとても
気持ちいいのを
教えられただろう

こんな風につ...



な、なんでっ...

やっぱり、奥で
感じてるね

あれだけ何度も
僕が責めたんだ
当然さ.....

トドメに瑞鳳君が
慕っている
提督に愛されて

気分も良くなって
身体のスイッチが
入っちゃった
みたいだね.....



あ……

アッアッ

どうだい？

アッアッ

僕とだってそこ
持っていていける



それを一度身体が
覚えちゃうと……
簡単に……

や、やだっ……
提督とした
あの時と同じ感じっ……

あッ

アッ

アッ



前とは比べ物に
ならない位
いいだろう？

これっ……
いやあっ……

また、頭が
くらくらして寝こ
な回らないっ……

アッ

アッ

アッ



うそっ…
こんなものって……!



私……こんなに
弱かったのかな……

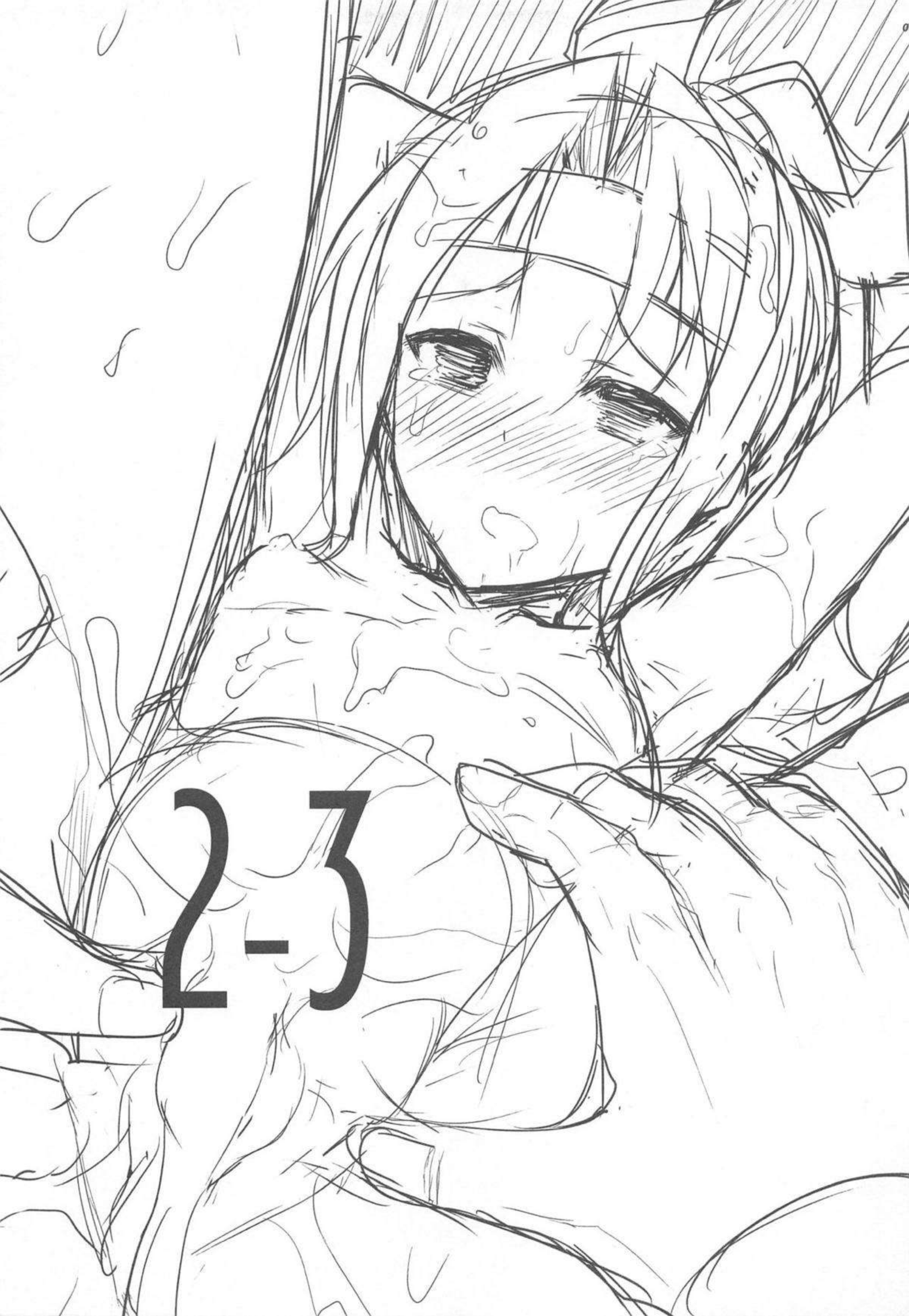
全然逆らえなかった……

ほら、ちゃんと
気持ちよくなれた
だろう？

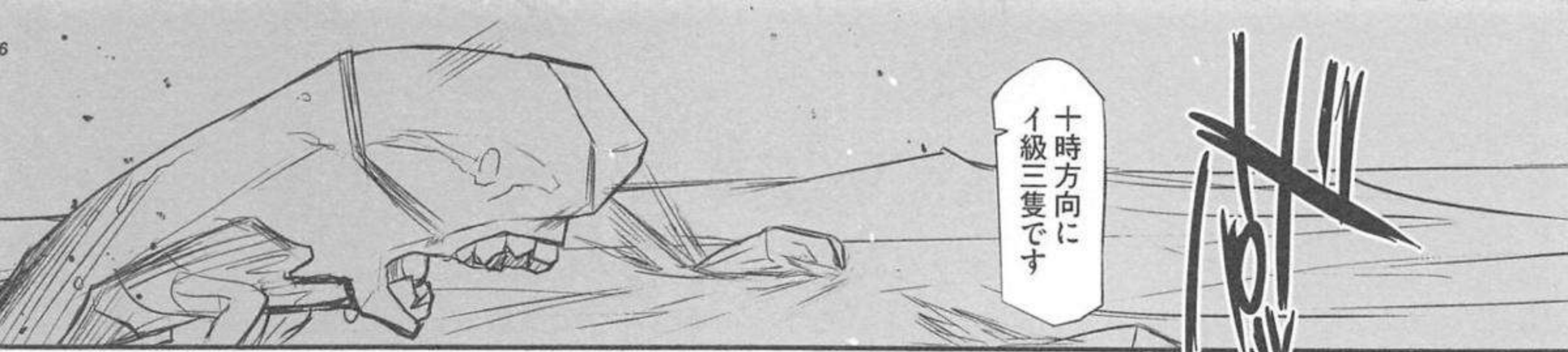


偉いよ、
瑞鳳君

明日からも
これをたっぷり
楽しもう



2-3



十時方向に
イ級三隻です



他には確認
できません
武装を見るに
恐らく他海域から
迷い込んだものかと

磯波ありがと

それじゃ、深雪
よろしく!

まかせとけっ!



……

こんな日に限って
朝から出撃なんて……

は……



今日が最終日……

執務室、お風呂
色々な場所で、
散々されて

どっぴりい身体なのか、
イヤと言っつほど
教えられちゃった……

あつあつ

あつ

あつあつ



終わりなんだから……

でも、それも
今日で終わり……





瑞鳳!

おい、づほ

づほ、そっち
行ったぞ……

えん!!

瑞鳳!

ここまでお前が
やられたのは
久しぶりだな……

少し懐かしい位だ

提督、
ごめんなさい……

良かった
……いや、お前が
無事ならいいよ

……

……

入渠終わったら
気晴らしにどっか
出かけよう、な?

……??



近くで見ると
……思ったより
立派ねえ

最終日だから
奮発してみたんだけど
どうかな、瑞鳳君？

この島に僕が来たり、
リゾートホテルが建つ……
君達の功績だよ

本当なら君や提督は
口利きすれば無料でだって
泊まれるだろう

今は素性がバレたら
まずいだろうけどね

やめてよおっ……

渡した男の人に
抱かれる為に
こんな所に
来るなんて……

そういう格好も
魅力的だよ

……そろそろ
瑞鳳君も自覚が
あるんじゃないかな

何……？

身体が……
ひどく熱い……

最初の時、
僕が龍驤君を抱いていたの
見てただろう？

その二人に
簡単に付いてきて
鳳翔と会って、
僕らの関係に気付いても

断りきれないで
気付いたら僕と
こうなってる

無警戒だね

答えなくてもいいよ……
君自身より僕の方が
ちゃんと解ってるからね

私、そっなの……
……かなあつ……

……というより
この島の暮らしが
退屈過ぎて

僕らの関係が
刺激的な見世物に
見えたかな？

もう……自信が
ないよお……

これで瑞鳳君とは
最後なんだ、

はっ

はっ

や、やだっ……

今日はゴム無しで
愛し合おう

私っ…た、助けてっ
凄く下キドキっ……

……嫌かな？

これまでだって
してきた事だからね

奥の奥まで直接触って
隅々まで可愛がって……

ぐずぐずになっても
何度だって……

ほら、言ってるだけで
身体が奥から
震えてきてるよ

もちろん外に
射精すから
安心して

いいね？

提督っ……
てーとっ……



……ってあら……



すみません、
まだ開店前で……



……後で来る、とは
聞いてますけど

ここで待ってて
下さいな



……お久しぶりです
……提督
元気してましたか？



あ、ああ……

……その、瑞鳳
来てないか？

あら、今日はまだ
いらしてませんよ



何か予定が
ある様でしたよ

そうか……

提督にも秘密
なんてどんな事
なんでしょうね

……



瑞鳳君が
こんな水着を
持ってたなんて

提督の為かな?

……きつと
盛り上がった
だろうね

そんな事
できるわけ……



私にできるわけ
なかった……
提督はそういう人
じゃないから……!

早く、
終わらせてねっ……
最後なんだから!

それは勿体無いよ、
最後までいゆつくり
味わってもいいんじゃないのかな……



こんな風に……

ああ……
入ってくるっ



ゆつくり、
形を合わせる
みたい

私、提督じゃない
男の人を……
受け入れちゃってる

こんななのっ... 私っ...

もう少しで全部
入るよ...
最後の一押しだ



どうしたのかな
瑞鳳君?

なんで
こんなに...

気持ち
いいのよお...

あんなに
可愛らしい
お姫様
は...
初めて
見ました

あんなに
可愛らしい
お姫様
は...
初めて
見ました



その……大きさを
変わらないのに

とても
簡単な事さ

瑞鳳君は
提督じゃない男に

抱かれてるから、
尚更気持ちいいんだろう？

提督より……
激しくっつ
ひたすらっつ



そんな事つ...
ウツよおつ!

君は危ない事が
大好きなんだ...

悪い子だねえ
提督というものが
ありながら

こんなに
楽しんで



奥までっ...
串刺しにされるっ...
苦しいっ!

アッ...
ウツ...
クッ...



ムキムキ...
ムキムキ...

...でもっ
本当に

取持ち55566

こんな風に...っ!

こんないやらしい
格好して...
凄く興奮して...っ...

ほら、もっと
激しくしても
いいんだよ?

勢いが
ついたねえ

私は提督の
為のものなのに...

身体が...もっ
止まらないよあつ...



私、こんな
いけない事た
覚えちゃった！

瑞鳳君も
イイ顔に
なってきたね

女子校生
おっ！

提督っ！
ムーヴン……

おっ！

あ、熱いっ……

ほら、どんどん
射精してるのが
解るだろう？

絶対ダメなのが
沢山流れ込んで

奥の奥の
場所までっ……

♡♡♡



ウソっ……
こんなにつ……

ああもう……
暴れないでくれよ

もう、
手遅れだし

提督じゃない
人のが……
中に注ぎ込まれて

赤ちゃん
の素が
いっぱい
入り込んで
るっ……

瑞鳳君の
望み
通りだろ？



よく見るんだ

たっぷり
注がれてる所をね

何……これっ？

こんなに
気持ちいいのっ



気持ちいいのっ……

キモチイイ！

ははっ：瑞鳳君
凄いヨがりっぷりだね

すごい量っ……
出てるっ……
熱くて……
ダメになる！

頭まで
登ってきて

こわいっ……

こんなに
気持ちよく
なったのは
初めてかな？

……何も
判らなくなるっ……

……

身体が全部
熱いよお……っ

聞えてない、か
拾い物だな、
これは……

クラクラしてっ……
おかしくなる……

あたまっ……
手力チカしてっ……

止まらなっ……

いやらしい子に
相応しく……

知らないのが
身体の奥から
来てるっ……

見立て通り……
やっぱり素質は
十分だね

……

……

ダメっ！

いやらしく
イってごらん
瑞鳳君

あぜふれぶ
るっ……

……

……

……

……



こんなのもうっ
忘れられないっ……！



んーい
それから事は
あまり覚えてない

ただ、最後のタガが
外れてしまっ

狂っちゃった
みたいこの男の人に
抱かれ続けた

はっはっはっ

はっはっはっ



本当に凄くて
もう二度と
忘れられないんじゃ
ないかと思う位

大分、瑞鳳君の
イキかたも
だらしなくなってきたね

頭の中まで
滅茶苦茶に
されちゃった

身体を隅々まで
まさぐられて……

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

瑞鳳君、もう夜だよ……？

最後には自分から求めて……

何も解らなく
なつて……

瑞鳳君
お疲れ様





もつと僕に
依存させたかったけど
良く頑張ったね

瑞鳳君は確実に
提督の事を
愛してる

…変な話だが
保障するよ

けれど、君を本当に
女にしたのは僕だ

……それは
忘れないで欲しいね

おれは
おれを
おれを
おれを



いつでも
呼んでくれて
構わないからね

それじゃ、
さようなら

おれは
おれを
おれを
おれを



薬も飲んだし
これで、大丈夫よね

全部おしまい……！
明日からは
また楽しく提督と……

いきなり
いなくなつて
また、心配してる
……かな？



まず、謝らないと――

ケツコンカツコカリ、
でしたか？

私達の頃には
そんなもの
なくて……

けれど
悩む事じゃ……
なかったですね……

こんなに
簡単な事を

はあ



その時、私は
最悪のものを
見た



だけどあの時と
同じように
ドキドキして……

鳳翔……

提督、もっと
触って下さい……



身体が……
震えた気がした

キ

HERE
TO
FALL
ADULT ONLY





ふあ……
ねっむいなあ……

久しぶりの
出撃だったから……
簡単な哨戒だったけど
実戦はやっぱり……ね

まーなあ、って

お、いるじゃん



あ、深雪……
心配しなくて
大丈夫よ

ま、ま、ま……

ホラ、私
慣れてるから



つぼ、
昨日のヤツは
大丈夫か？

っ！



さっすが
歴戦の勇者
だけはあるなあ

……その、深雪？

急だけど
今日の秘書艦
変わって
欲しいんだけど...

んー、何で？

ちよっと用事が
あってね.....

おやおや.....?
やあ、瑞鳳君

ゴッ

体調は大丈夫かい？
昨日はちよっと
自分でもやりすぎたと
思ってるよ

謝らせてくれ、
それと何か相談でも...

この男本当に.....

最低よっ.....

.....瑞鳳君？

そんな事
じゃない.....

いや.....ん？

貴方が.....
けしかけたんでしょ！
提督につ！！

ゴッゴッ



それは僕はあ
関係ないなあ



成る程、
そんな事がね……
ハッキリ言うけど



お互いに
愛し合ってるからね
基本的に自由にだから

彼女が勝手に
した事だよ
ツ……!



そもそも
僕が鳳翔に
命令する様な
関係じゃない

えっ……？



そういう事なら、
その提督だって
怪しいじゃないか

ウチの鳳翔と
知り合ってた
みたいだし

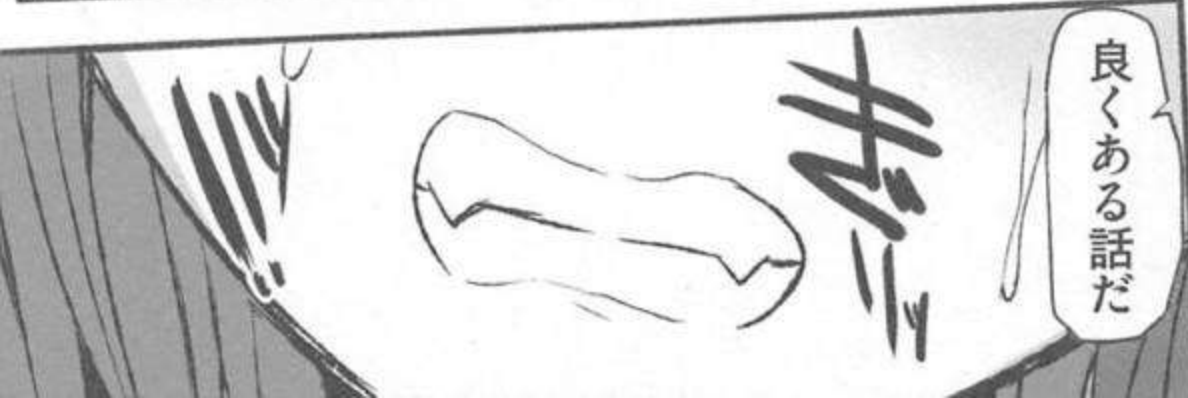
昔はそういうのが
関係だったのが
燃え上がったって……
みたいな事だって



ふざけないで！
そんなワケないでしょ！

アナタじゃなきや
誰が……

良くある話だ







それはっ！
貴方がっ……

その割には
抵抗もないし



本当かなあ
ただ単に僕に
慰めて欲しいだけ
じゃないのかな？

そんなワケ
ないでしょっ！



……んん？僕が
何をしたのかな？

はつきり
言ってみなよ
瑞鳳君



まだまだ
昨日の事は鮮烈に
覚えてるだろうからね

身体が、
抵抗できないん
だろう？

……ああっ



だめっ……
これ以上
思い出したら

知らないっ……

ハハッ……
君は本当に
可愛いなあ

僕も流石に鳳翔に裏切られると気分が落ちるね

そういうワケだから瑞鳳君の身体で僕も慰めてもらおうかな？

あははは



あははは

あははは

えっ………？



なんで私もうこんな……

ほら、瑞鳳君も待ってたろう？

ち、ちがっ……

こういう時は正直な方と話し合うのが手っ取り早い

と言ってもここまで柔らかく受け入れられるとは思って無かったけどね

昨日一日中愛し合ってたけど

やっぱり僕と瑞鳳君は相性良さそう

奥まで簡単に入ってっ……





あーっ
あーっ
あーっ

ねっ……!



ちがうっ
提督はっ……!

提督とココのサイズも似てるみたいだったから瑞鳳君を昂ぶらせるのも楽だったし……



あーっ
あーっ

瑞鳳君もつと教えてあげるよ

ほら、もう蕩けてる



ここ浅い所を早く動かすのに君は弱いんだよ

今日のはっきり解るだろう?

何でこんな簡単に解るのっ……!

昨日はもう朦朧としてた時だったけど

も、もうっ……
頭に凄いのが
キそうっ……



バレちゃってる……

瑞鳳くん
今、軽くいきそう
だったね？



おおっと、
抜けないは
良お



私の身体
全部が……

ダメだよ、まだまだ
教えなきゃいけない事は
沢山あるんだから、
……じっくり行こう

えっ……何で
止まって……



そっ、
じっくりとね

もう、この男につ……

は

は



あつ、またっ
クッ...
キチャ...



は...
ハ...



ハ...
ハ...

ハ...



どうだい、瑞鳳君？
とても気持ちいい
...だろうか？

こんなの...
酷いわよ...



また勝手に
イこうとしたね

顔は抑えてても
瑞鳳君のは簡単に
解っちゃうんだよ

ハ...

どうしてっ...
どうしてよ...



どうしてか
知りたいだね？

もっ...
何回...
頭おこ...
なっ...
ちやう...
うっ...
なっ...
ちやう...
うっ...
なっ...
ちやう...
うっ...



ズンズンズン

ぬげちゃっつ...



やだっ...
おわっつちや

あ、ああつ...
きたつ...



それっ!



瑞鳳君は奥で
いく直前お腹が
震えだすから
本当にわかり易いよ

やだつ...
またつくるつ...

その時にゆっくり
引き出せばホラまた
逆戻り、
これを繰り返せば...



僕はそんなに
動かなくていいから

こんな風にずっと
楽しめるワケだよ、
解ったかい瑞鳳君?

もうっ、続けたら
死んじゃうつ
たすけてっ...
許してっ...

ズンズンズン

ズンズンズン

まあもうまともに
頭に入る状態じゃない
だろうけどね

またつ...



提督ッ...
たすけてよお...

刺激を
受け入れるだけで
翻弄されればなし
っ感じかな?

シューシュー

思い出しちゃって
すごい硬くて
何度も何度も……

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

私の奥まで
全部っ……

こんな……
ズルいよあ……

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

僕はもう
終わらだって
言っただから
欲しいなら
まず、ちゃんと
言ってくれないと
困るんだけど

グッ

グッ……

そこで
ストップだ

グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

ほら、瑞鳳
言うんだ
お願いしますって

グッ
グッ

グッ

グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ

グッ

グッ



冗談だよ瑞鳳君、まさかそんな事

君みたいないな一途な娘がそんな事言うとは思ってないからね

そうだろうか？……とまあ

あっ……イけたあっ……



八つ当たりはこれ位にしてきちんと愛し合おうか

今あっ……私

自分から
提督に酷い事
言おうと...

んんん...

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ

おっ
おっ
おっ

おっ

おっ
おっ
おっ

こんなっ...
激しいっ...

おっ
おっ
おっ

さっきは瑞鳳君も
欲しがってただろう

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

身勝手は
良くないな

おっ
おっ
おっ



それにしてもっ
いい締めだねえ……!

訓練してるからなのかな？
僕でさえびつくり
するんだ、提督も
相当気持ちいいだろうね

あー!!
あー!!
あー!!



その辺どうなのかな
聞いてるかい瑞鳳君？

ま、また
提督の話してっ……

あー!!
あー!!
あー!!



そんな事...
答えるワケ...
ないじゃない...!

あー!!
あー!!
あー!!

絶対「う」……

「う」から辺で一度っ……!

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

ふう……

あー

あー

あー

あー

あー

あー

掃除してるとはいえ
流石に床は……
服が汚れてしまったね。



続きは部屋にしよう
いいね、瑞鳳君？

聞こえてるのかい
瑞鳳君？



ほら、
どうだい
瑞鳳君？

そんなの
知らないっ……



私も、嫌だけど
この感覚に
慣れてきてる……

もう、つれない
態度だね……

もっと意地悪した方が
良かったかな？

おおっと……

にしてもっ……
昨日あんなにシたのに
まだ全然余裕そう……



電話か……
鳳翔かな？

ちよっ、
ちよっ！？

離してよおっ……!



えっ……

このまま電話に出る
つもりなんて
おかしいわよお……

はい、もしもし
小料理、鳳翔です



もしもし、こちらは
この島の……



あぁ、
提督さんですか
声で解りますよ

……丁度
良かったです

今こちらに
瑞鳳さんが
いらしてるので

いやね、鳳翔と一緒に
料理を教えてまして

そんな事って……

私っ行き先だっ
誰にも言っ
なかつたのにつ

それで、何の
ご用でしょうか

おっ!!

……はい、どちらに
替わりますか?

それでも
かけてくるなんて
やつぱりつ
バシでたんじゃ……

瑞鳳さんで、
……解りました
少々お待ちを

それと
鳳翔も
絡い
私連
がた
らに
……?

瑞鳳さん、
提督さん
ですよ!

とにかく
出さな
いとい
よう



解ったよ、今日は
ゆっくり教えて
貰うといい……

はい
あ、後そうだ

何……っ？



解った、その…
ごめんね……
提督

……それは深雪に
言ってやれって

だってっ…



深雪の奴が
不貞腐れてたから
なんか今度
埋め合わせしないと
ダメだぞ？

うん……



まあ、とにかく皆
心配してるんだ
ちやんと帰って来いよ

……あー！
その何だ…瑞鳳



愛してるぞ

あつ……なんでこんな……
私……

安心……

……

提督の事考えながら
こんな男につ……
犯されてっ……



原掛の6へ……

絶対にダメな事
だった筈なのに……
もう当たり前前みたい……

熱いのっ……
注がれてっ……



……どうやら
上手く行った様だね
……瑞鳳君、
興奮したろう？

……あ
い……

まだ、頭が
しびれて……

そんなッ……

あ……あ……

まあいいさ、
今日はゆっくり
できるわけだから

瑞鳳君
そうだろう？





あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



瑞鳳君、
どうしたんだい？

やめてっ……
そんなに
押し付け
ないでよお



何を今更……
お互い散々
ここで繋がったん
だからね

ほら、触って……

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

うわあっ……
こんなる熱いのが

おや……
どうしてそんな顔
するんだい？

私の中……



もしかして、瑞鳳君
間近できちと
男のモノを
見た事がないのかな？

さっきまで
何度も入ってた
なんて変な感じ……

だったら
この場で慣れて
おくといいよ

ちよつと、
口の練習して
おこうか……



……この反応、
どうやら
そうみたいだね



ハハッ……
迅速な判断だね

……っ！
変な味と
匂いがして
気持ち悪いよ……

そんなわけ
ないわよ……

ホラ、やってみて
いい機会だよ
……提督も喜ぶさ

……いきなり
こんなに近くで……

……それで
いいんだ

……それなら
僕が君を
また弄り倒して
あげようか？



口でするのは
知識位は
あるだろう？

それはっ……



……っ！

……っ！

……っ！



ほら、形が良く
解るだろう？
結構表面は
でこぼこしてるんだ

提督とも
シた事ないのに…

何で
こんな事…



でも、早く鎮守府に
帰るには
これしかないの…



そうそう
上手だよ、瑞鳳

少し口の奥に
入れてみようか



こんな事してるのが、
しかもこの島のエース
なんだから

そんないい
言わないでっ



おおっ…これは
たまらないな



そんなの、私
知らないわよお...

ほら、瑞鳳君
どんな風に見える？

そんな風に
意識させないで...

さつきよりっ、
真ん中に熱い芯が
入ったみたいにおい...
なってるよお...



男の人って、
こんな風に
なっちゃうんだ...

瑞鳳君のココも
さつきから蜜が
ひっきりなしだね

ほら、続けて...
お互い気持ちよく
し合おうか

それにこの格好...
普通に入るより...
お互いが無防備で...



もっと
みたくしたいに...

僕もきっちり
シてあげるよ

そうそう、
その調子

きゅん...
きゅん...



こんな事に
なるなら先に
提督にシて
あげれば……

提督の感じ
なのかな……

良かったのかな……

おおっ……
瑞鳳君やるねえ
なかなかな
筋がいい様だ



僕も負けて
られないな

とにかく、
普通に入る位なら
こつちの方がマシな
筈よね……

っ……瑞鳳君、
急にっ……!

それに、少しでも
手玉に取られてるの
……仕返したって
出来でるだろっし

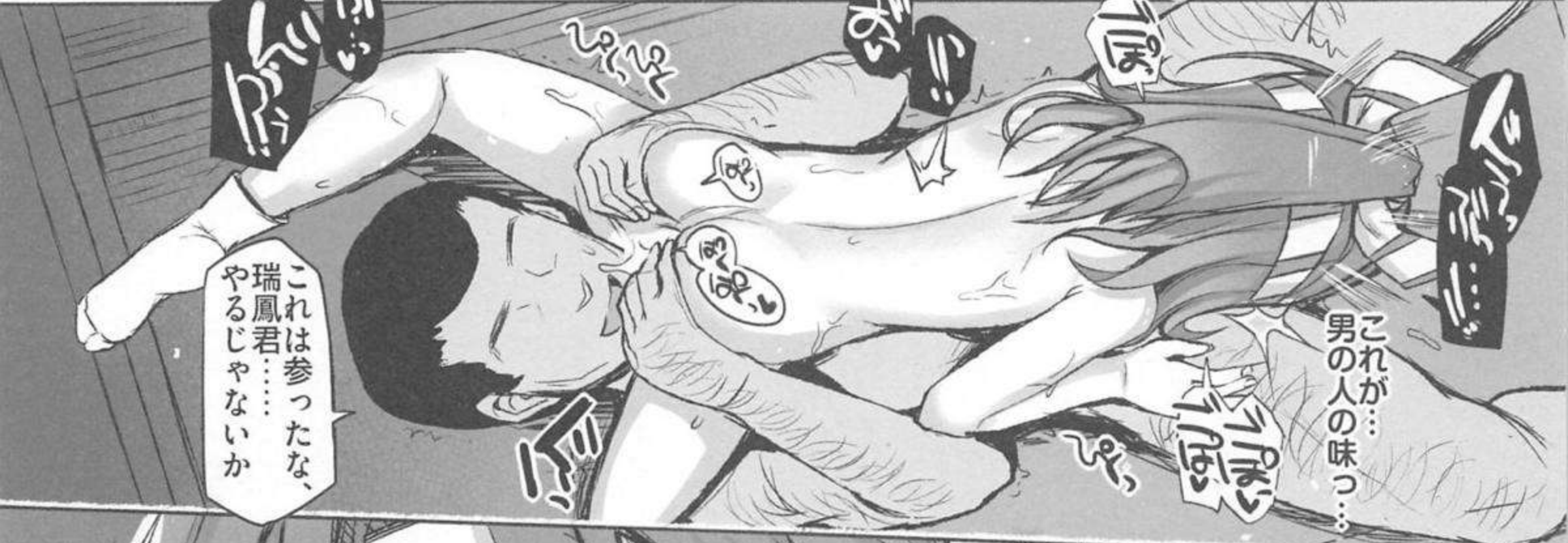


……ぐっ!

びしょ

びしょ

びしょ



これが…
男の人の味っ…

これは参ったな、
瑞鳳君……
やるじゃないか



ねばついて
不味くて……

まるで、この男
みたいにつ……

さて、これから
どうしたものか……

おや、雨か……

凄い音だ、これは
本降りになるね

あ……

あ……



—ううん、
どうしたものかな
こりやあ
酷くなるぞ



奇遇ですな



おっと、提督さん
こんな所で



ま、そういう事
でしょうな

行き違いか……

ご安心下さい、
先程こちらにも
雨脚が強くなる
前に帰る様
お送りしましたから



といつても、瑞鳳さん
をお迎えに来たんでしようが

あ、はい
まあ……



……この道を
知っていると
流石だなあ



この辺は現地の人は
近寄らないからさ

大丈夫、基本的には
人は来ないよ

さ、それじゃ
行こうか瑞鳳……



瑞鳳は僕より
びっくりしたかも
だけど

こんなにつ……
雨降ってるのに
熱いっ……

熱いよ……

ああいう事は
稀だから
僕も流石に
驚いたよ

あははは

あははは

あはは

あはは

あはは

あはは

あはは

あはは

あはは

あはは

あはは



瑞鳳君を汚れた服のまま帰すわけにはいかないからね

何か怪しまれるかもしれないし

それに瑞鳳君ならこういう事も楽しめると思っただからね
なっ……



私っこんな格好で、外でなんて……

なに、軽い延長戦さ悪い様にはしないよ

瑞鳳君の場合はこういうのはハマると癖になるから

こんなの全然楽しくないわよ……

無理やり、キスされて
身体の中
まさぐられてっ

それを心配した方がいい



こんなう……

瑞鳳君、
いい顔だね……
とても綺麗だ……

どうやら
神殿の様なもの
あったそうだよ



——よし、
この辺で
いいかな

知ってるかな、
この辺りは昔
この跡が
あった
遺跡
みたい
だね

さらにその後
は潜伏しやす
い軍事拠点
に利用され
たりも
したそう
だよ



勿論掘れば死体も出る
地元の人とはとても
複雑だろうね

あつ……雨の
中なの……
熱が……
伝わってくる

また……
犯されちゃうんだ

瑞鳳君は
どう思う？

そんなの……
知らないっ

つれないなあ……

あ……



君の先輩達が
ここで戦ってたかも
しれない場所で

セックスに
耽ってるんだから

申し訳ないとか
そういうのは
無いのかな

いきなり...
激しいっ!



だから私はっ...
関係なっ...

あつ...これっ...
冷たいのどっ...
熱いのがハッキリして...



いつもより余計に、
入ってるのが
解るっ...

...それじゃ
こっちはどうかな



君の提督、
こんな道を使う程だ
急いでたんだろうね

自分も酷く
熱くなってるのが
解るっ……

君に早く
会いたかった筈だ

それなのに君は
外で腰を振ってる
わけだ……

あなたの……
せいでしょっ！



大体、提督に
助けを求めたって
良かったんだよ

っ……！
そんな事したらっ

掻き出される度に
少し冷たくてっ……

そんな事したら
どうなるんだい
瑞鳳君

変な感じっ……

提督を絶対に
信用してるなら
そうすべきだけど

ああ

……それが
できなかった

ああ

提督とまで
ギスギスする事は
ないんだよ？

アナタが
言える事じゃ
ないわよっ……!

瑞鳳君には
どうやら事情が
ありそうだねえ

ああ

ああ

ああ

ああ

ああ

ああ

ああ

ハハッ……
それもそうか

ああ

ああ

けど、
この宙ぶらり
危ない状況を
瑞鳳君はどこか
愉しんでるね

ああ

ああ



なっ...
何でそうなの...

まあ、だからこそ
君は素質が
あるんだけど

この雨だ、
もっと思いい切り
大丈夫だよ？

違うっ...
私...

そんな...
楽しんでないって
考えてないっ...



ほらっ……
射精すよっ……!

流いっぱい
流れ込んだVAGS……

奥で感じるっ……
止まっついでっ……
早く終わっついでっ……





あ...

これっ...
いつもと
全然違うっ

あ

あ...

あ...

本当に
へんになり
だっただけ...

思ったより早く
射精して
しまったね

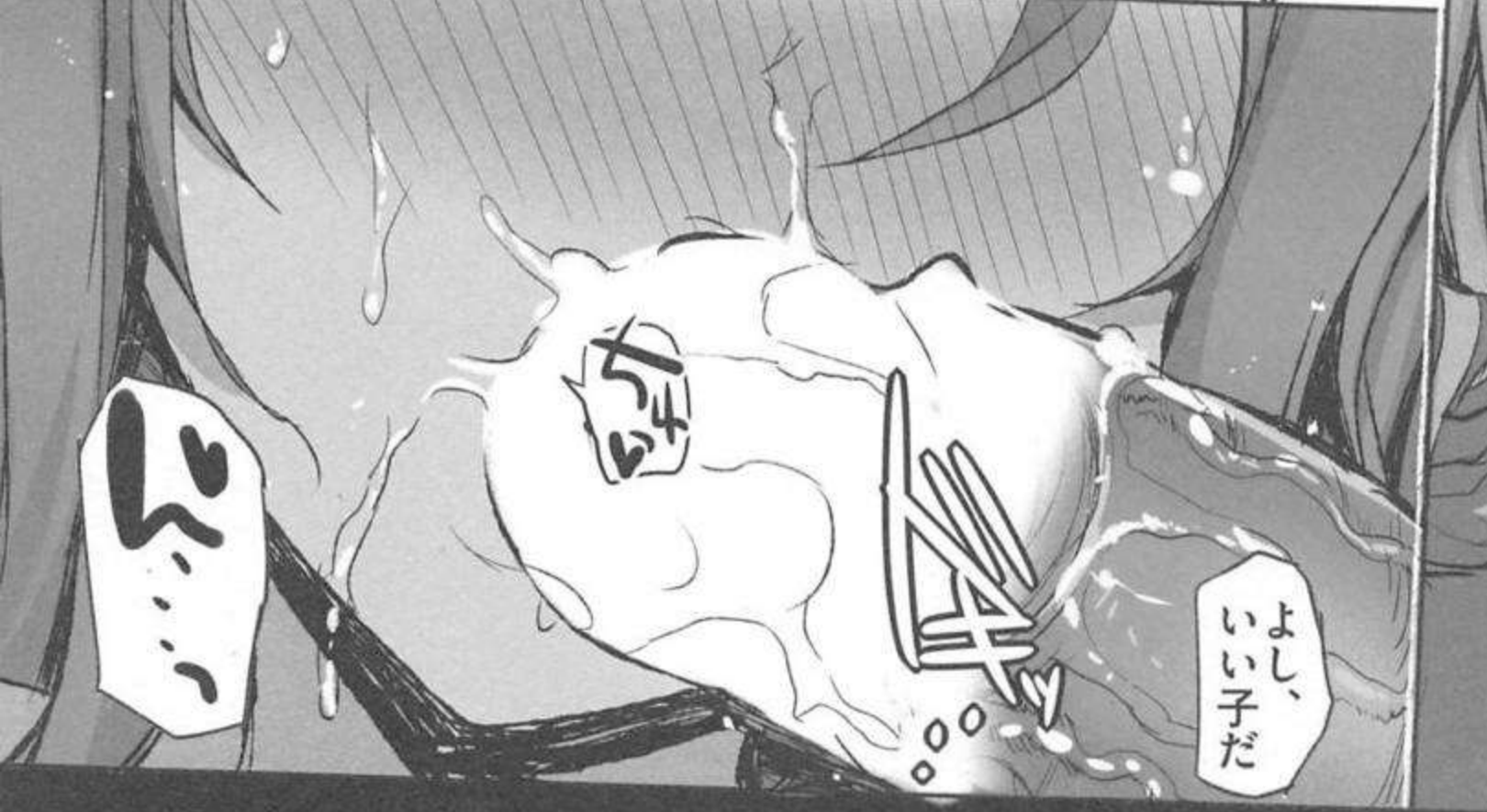
あ

まあ
丁度いいか



そんなに
見ないでよ...

続けたいたいの
は山々だけに
提督に言った
手前ね...



それじゃ、瑞鳳君
帰る前に
おさらいだ

...

でも、まだ……
私は大丈夫だから……

よし、
いい子だ



24



はっ

……提督、昨日は
ごめんね？

あ……



……ん？

カチカチ



こんな朝から
誰かな？

カチカチ



あ……

おはよう……

むしろサボって
どれだけマジメなんだよ



瑞鳳、気にする事
じゃないさ

誰だっただまには
サボりたくなる

20



やだっ……こんな時に私、何を想像してっ

瑞鳳……？

えっ……何？
提督

子供扱い
しちやったか、
すまん……

もうっ……
それ位は……
いいわよ……



元々、瑞鳳が
作る朝食は
抜群だからな

それじゃ
頂こうか

いやあ、楽しみだ

それが更に
パワーアップと
なると……



もうっ……

そんな一日で
変わったりなんか
しないわよ

なんで
一日だけで
私、こんな……

でも、
つきつ切りで教えて
貰ったんだろ？

そりやあもう
きつと……

瑞鳳？

あつ……!!
ゴメンなさい
ポーっと
しちゃった

うーむ、
風邪っぽいのか？

昨日の雨も
かなりの物
だったしな

今日も大事を
取って休んでいいぞ

うん……
ありがと、
提督

カチカチ
カチカチ
カチカチ

瑞鳳君、今日も
来れたんだね

カチカチ
カチカチ
カチカチ

だって、来いって
言ったのあなたじゃ……

今日もあの日と
同じで、龍驤が……

まあ、
そうだけどね
しかし、僕の話
を素直に聞くかね

カチカチ
カチカチ



でも前と違うのは……

まあいいさ
丁度良かった
龍驥君が見たかった
そうだから

何よそれ……

私も……



君の事を気にしてたからね

はっ



それじゃ、づほに思いつきりシたってや

ああ、勿論さ

りゆ、龍驥……
こんな格好っ

ええやろ、男から見たら最高の光景や

そんなっ、私喜ばせるつもりなんて……

驚いた、ホンマに
まだ……凄いなあ
づほは……

龍驤
何なの？

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

いや……
何でもないわ

ほら、はよ
入れたってや……

んんん

んんん

んんん

んんん

あ……

んんん

んんん

んんん

いいね、
瑞鳳君？

今度は逆に私が
龍驤の目の前で
犯されるんだ……

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



完璧に身体は仕込まれとる

もう、こりやギリギリで踏ん張ってるだけやな

違っつ私は...

そんな事ないからあつ

びびり

ああ... ホンマ、可愛いなあ



ほら... 抵抗しひんのかい?

だってこんな女の子同士でっ...

いきなりキスするなんて...

びびり



龍驤みたいにおかしくなったりなんてしない...

びびり



ちやんと逆らって...



おっと、瑞鳳君二人だけで盛り上がるのは頂けないなあ

びびり

僕の事も
忘れないで
欲しいね

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

うわっ
凄い声

奥に思いつきり
突き刺さって

やだっ
急に激しく……

あーっ
あーっ
あーっ

瑞鳳君は
本気で感じる
こーういふ声に
なるんだよね

声……
出ちゃうのよ……

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

誰に惚れてても
ぐずぐずにしてまう

ホンマひどい男
やなあ……

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

やだっ……
見ないでっ……

瑞鳳君、特に
今日は
興奮してるね

あーっ
あーっ
あーっ

もっと龍驤君に
見てもらおうか

あーっ
あーっ

ただ、今日は
それだけじゃ
なさそうだ……

あーっ
あーっ



あつ...
息がっ...!

それっ...!

ねちっこい汁が
じわじわ
溢れてきて...

もつこんな簡単に
キちゃうのツ...?

ピンク色の肉が
ねっとり
絡みついて...

瑞鳳の息に
合わせて入り口が
めっちゃ
パクパクしとるで



そんなの
知らないわよお...

だそうだよ、
瑞鳳君

見る人が見たら
卒倒モンやな



さて、そろそろ
いいかな？

カッ
カッ
カッ

ズッ
ズッ
ズッ

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...



さて、覚悟は
いいかな瑞鳳君？

カッ...

カッ...

うん、
感じ方も
十分だし

今度は...
何をっ...

カッ...

カッ...

カッ...



でも、前の身体を無理やり身体を支配するみたいなのと違って……



何か、気持ち悪い……



ほら、こっち見て



いつもおんなじ……

だけど……確実に出し入れ



きつと、提督も
気持ち良さそう
だったんだろ



これっ
やだあつ……

瑞鳳君、解るよ
不安なんだろう？

はい

本当は提督から
鳳翔に手を出したんじゃ
ないかって



でも本人に
確かめたくない
怖いからだ……

あ……やだっ
急に優しく
しないでよあ……



……

や……
何これ……？



変な気持ち……

ちやんと僕は
解ってるよ



何これっ
全然動いてないのっ

わ、私は
そんなあ...

身体がすじとっ...



ちよっど、
やさしくされた
だけなのにつ...

意地を張らなくてもいい、
不安な時はもっと
正直にならなきゃ...

あ...幸せな感じが
いつぱいで...
もっどっ...
欲しくてっ...



ほら、最後に一度
自分で動いて...

こんな甘やかす
言葉だけなのに...

これで
終わりだからね

これだけで...
なんでっ...

この男が。
好きみたいになっ...



やめて……
もういいでしょっ……
動かないでっ!!

そうそう、
いい子だ……

終わった……っ



あ……
あ……

あ……

!!

なあれっ……?
なあれっ……!

僕は、
動いてないよ?

ハハッ……
やめてだっって?
何を言ってるんだい
瑞鳳君?

とまらな……
とまらな……

が……

が……

あ……

あ……

あ……

が……



私は、止めたいのにつ……

君が僕を欲しがってるんだ

なんなのつ……

こんなもんで簡単に支配されてるの……

そ、んなつ……

ガッ、ガッ

ガッ、ガッ



でも解るつ……アッレで満足させてくれればつ……

絶対につ……欲しいよおつ……

それがや、欲しがりな瑞鳳君を止めてあげないとね

ガッ、ガッ

ガッ、ガッ



ほら行くよ たっぷり注いであげよう

気持ちもつ 身体もこの人に 私の事、全部つ ばれてるんだつ……

そらっ……!

ああ……解ってるんだ

ガッ、ガッ



この人がちゃんどつ 愛してくれないとつ

もう私つ……ダメなんだ……!

ガッ、ガッ

ガッ、ガッ

ガッ、ガッ

あ、あれ？
これっ出てるのっ……？

ほら、瑞鳳君
僕も、ちやんと
愛してるよ

ゆっくり漏れる
みたい……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

んんん……

心も身体も
弱った女の子を
両方、甘やかして
追い込んで

なんでも
なこれにつ

今までも
一番……

こりやもう、
づほも
ダメやろな……

んんん……

んんん……

んんん……

気持ち……

んんん……



全身がっ、
甘く痺れてっ……
収まらないっ……

甘い波に
ゆつくり
優しく
飲み込まれて

……まだ物足り
なさそうだね

あ……
あ……
あ……

そんな事ないっ……



もうっ……
やだからっ……



何もかも嬉しくっ
ほんやりするっ……

絆され
何も
曖昧に
かかっ

提督、
怖いよお……



このままじゃ、
全部好きにされて……

瑞鳳、次は
ウチの番やろ？
交代してや

いつぱい
優しくされて

おいおい、
君たち……
続行するんかい

無理っ……
だ、だっ……

この人とする事しか
考えられなく
なっ……



真面目そうな顔して、結局これかい！

あれっ……？ 私に何か言ってるっ……

龍驤、どうしたんだろ怒ってるのかな？

瑞鳳もタダのオ○ンコ穴つて事やなつがいに汚いメスと……

提督も可哀想になあ……

あ……提督……提督……きこえた……

最低の女や、失望したわ！

よくわからないけど……

うれしいっ……きもちいいっ……

うれしいっ……

このッ！

キム

……

……

……

……



こんな気分
初めてでっ…
提督…私っ…

ほらっ、もつと
動いて…瑞鳳

ちよ、
ちよっとお…

お願いだから
呼び捨て
しないでっ…



もう…自分から
動いても全然イヤじゃ
なくなってるっ…

むしろ…
妻の嬉し…

いいじゃないか
…瑞鳳



…だ、だから
やめえっ…

何を言われても
心地よくて…

あーっ



怖らめお……

瑞鳳の大好きな提督だってそう呼んでたじゃないか

どんどん押さえが、効かなくなつて……

でも、僕にだって権利はあるだろ？

私が私でなくなつちやい……

そう……
だけどつ
提督だけの
特別なのっ……

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



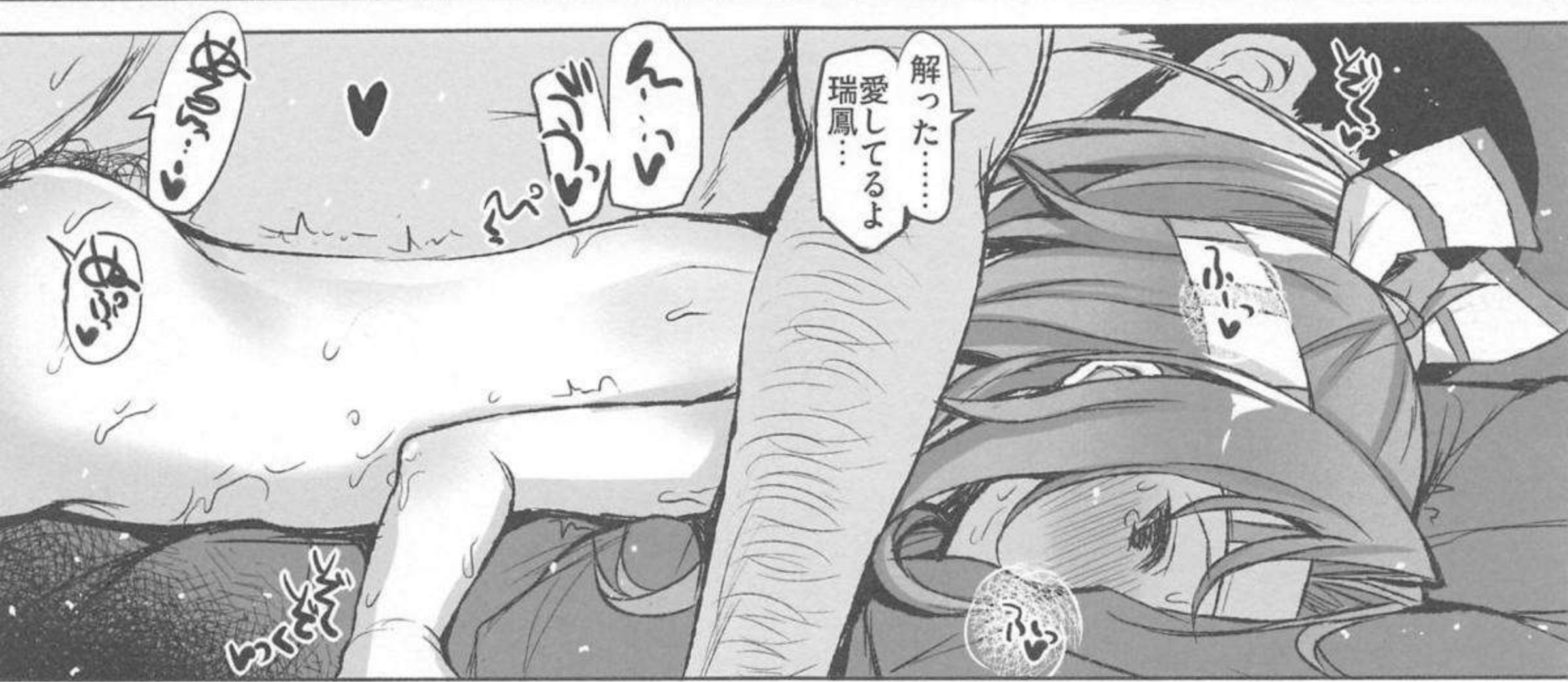
でも……
本当に怖いのは

そんな事……
ないから……

まったく
嘘つきな
子だな

とにかく、
アナタが呼ぶのは
絶対ダメなんだから
……ね？

僕だって
君にとって
特別になっ
た
筈だろ？



解った……
愛してるよ
瑞鳳……

ん……
ん……

……



だから……

それすら
イヤじゃないって
思えちゃう所……

……



今日は朝まで
龍驤と交互に

たっぷりと、
愛してあげるからね



提督...
もう、私...
幸せすぎて

壊れちゃうかも...

アッ

アッ

TURNED INSIDE-OUT





瑞鳳
集中してっ...

今日は
これ位かな？
射精すぞ...

カチカチ
カチカチ
カチカチ

証拠は多いほうが
良いので

解ったよ



カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ



カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ



気持ちよかったろ
瑞鳳？

...その様子じや
訊くまでもないか

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ

沸騰する前に
引き上げて……

こう……？

そう……
悪くないですね

数週間
一通り
コッ
を
は
な
い
か
し
ら
？



それと
いくつかお料理を
詰めておいたから
提督に渡してあげて



ちやんと料理を
教えた成果を
見せないと
いけませんからね

え……



……バレたら
大変でしょう？

上手く
やって下さいね
瑞鳳さん



あれからずっと...
関係は...
続いていて...

フム

週に何度か会い、
あの男に
抱かれる

ただ、
セックスに
耽るだけ

都合の良い男として
使ってくれど...
言われるけど...

瑞鳳は本当に
ココが好きだねえ

顔で
バレだよ

実際の所は
もう、多分...



あーっ
あーっ
あーっ

もう、脅しも
してこない

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ
あーっ
あーっ
あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ



正反对で私が、
あの男にとつて…



提督…
いる？

……ああ

ガキ



もう、
執務室の前…
切り替えないと

ふう……



ただいま！

鳳翔さんの
お店で二人で
作ったの、後で
一緒に

瑞鳳……
聞いてくれ

……えっ？



もしかして……っ

……っ！



大事な話が
あるんだ



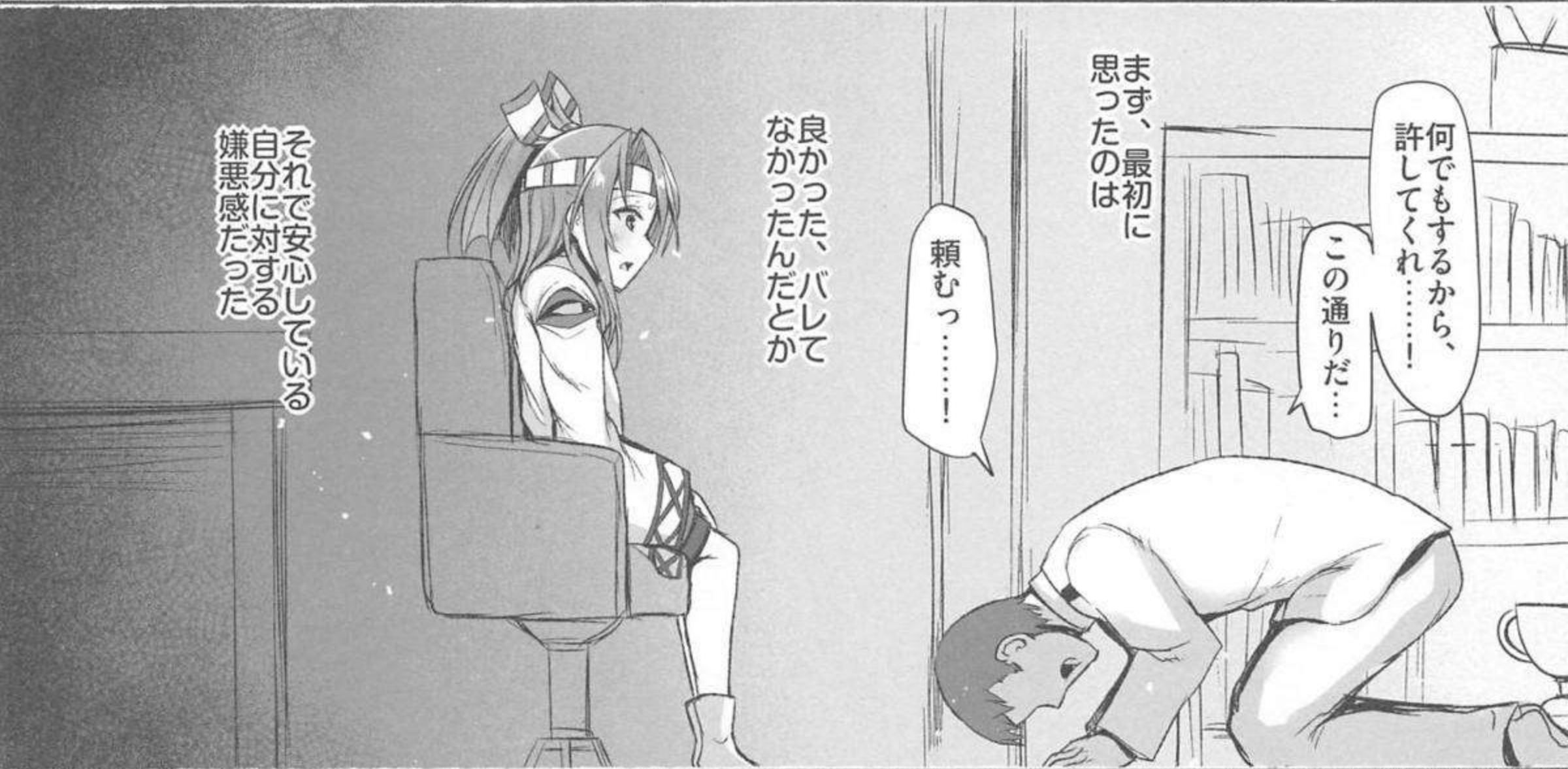
瑞鳳、

本当に
済まない！



俺には瑞鳳が
いながら……

数週間前に
あの店の鳳翔と……
関係を……



何でもするから、
許してくれ……！

この通りだ……

まず、最初に
思ったのは

頼むっ……！

良かった、バシて
なかつたんだとか

それで安心している
自分に対する
嫌悪感だった



そ、そんな事
いきなり……
言われても……

でも……
一番最後は

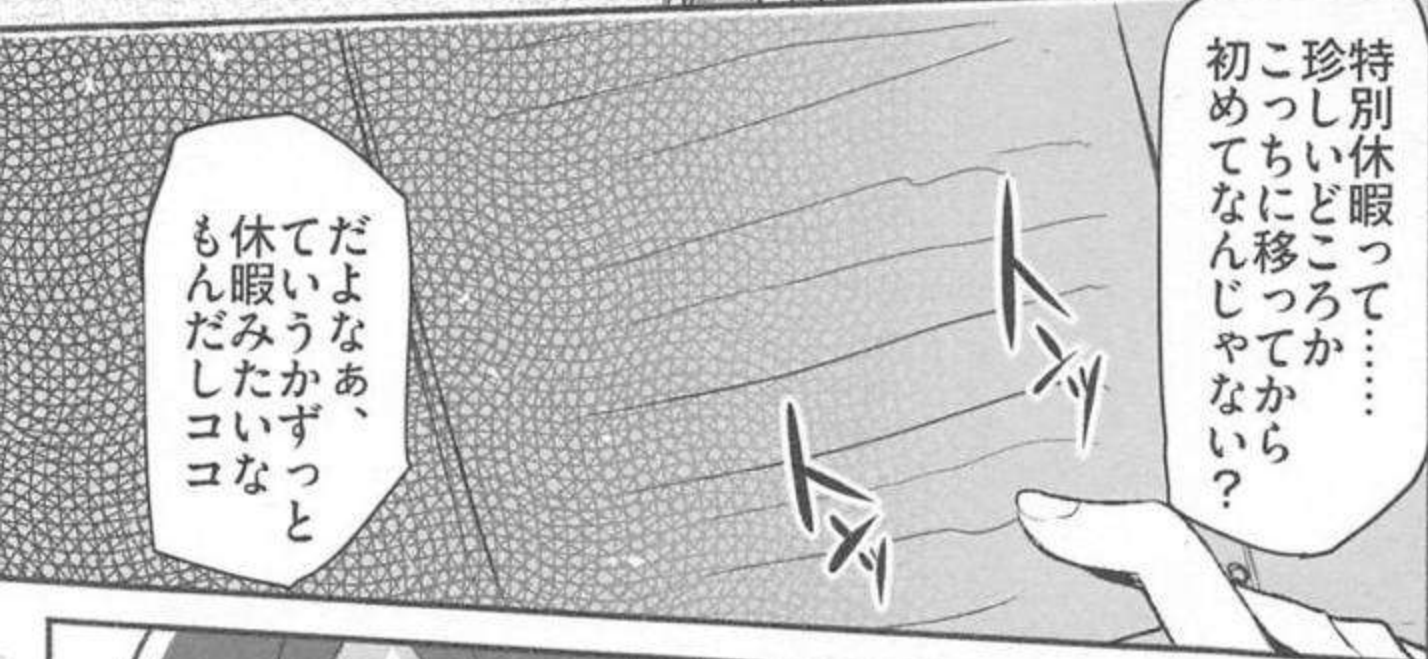
困る……
困るわよお……



……どうして私はあ
あの時、こんな風に
できなかつたんだろう

瑞鳳……？

それだけだった……



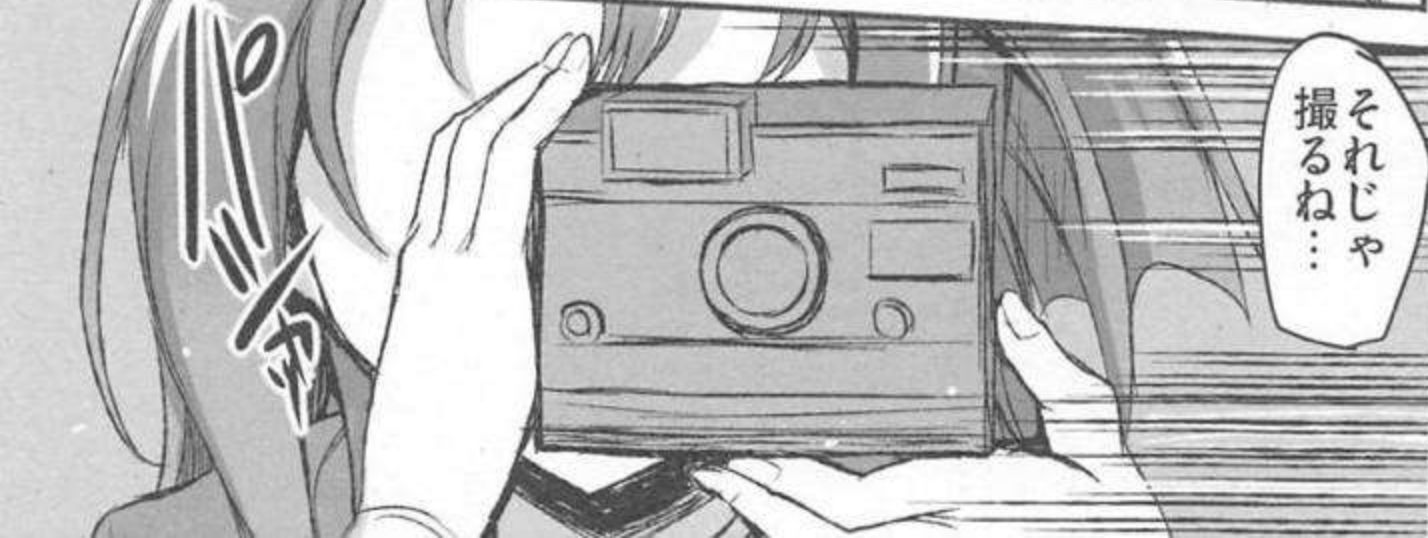
特別休暇って……
珍しいどころか
こっちに移ってから
初めてなんじゃない？

だよなあ、
ていうかずっと
休暇みたくな
もんだしココ



瑞鳳と二人きりで
旅行だって話だ

行き先は？



それじゃ
撮るね……



敷波、
ほら、
ココ
見てみ

……ん



数年でこんなになんにも...
...本土も
変わったわねえ

平和になれば
地力はある
国だからな

お前は
何か欲しいもの
無いか?



それじゃ
行きましょ

服とか
カバンとかさ

特に無いわね...
...似合わないわよ
...私には

はあ



ここも...
ホテルに
なつたのね

いや、元々ホテル
だったのを本部が
間借りしてただけさ

あ、そうだったの...

ああ

...



ああ……
勿論だ

この部屋の隣位
だったかな？

そう……
仮眠室で初めて
愛し合ったの

三日後には
艦隊の皆に直ぐに
バレちゃってな



提督は
覚えてるわよね？



私達、これから
ちゃんと
やり直して……

瑞鳳……

って……もう、
最後まで言わせてよ



瑞鳳っ……



ありがとう……

提督っ



……
色々あったけど
やっぱり私は
提督が一番大事

だからね、



提督とスるのは
何週間
ぶりかしら…?

あーっ!!

アムアム

アムアム

私、少し
不安になってる…

待って…

あーっ!!



提督の身体、
凄く熱くなって…



瑞鳳、
…どうした?

…ひひ、
久しぶりだから
やさしくして…
ねっ?



けど、我慢は
できそうにない…!!

…解った

アムアム

努力はする…



あーっ!!

アムアム

アムアム

アムアム

もう、服が汚れちゃうっ…

優しいけど、無理やり自分を押し込めたい…

私の事を、本気で欲しがってるの、何となく解る…



大事にされながら愛されてる…

嬉しい…



提督、ソコっ…
だめえ…

脱服っ、
脱ぎましょっ…





んんん

そんなに
見ないでよお...

やっぱり、
凄くキレイだ

んんん



瑞鳳、
いくよ??

んんん

んんん



んんん

んんん

んんん



んんん

あ...凄く
気持ち良いっ!

っ! っ!
凄っ!

締め付けっ...

やっぱり...



んんん

瑞鳳っ!
愛してるっ...

提督とするの、
幸せっ...
本当に、嬉しいよお...

この感じ、
暫く忘れてた...

提督っ.....

んんん

んんん

んんん

んんん





凄く熱いのがッ……

キーン……！



あぁ…

答えたくなかったら言わなくてもいいから…



ねえ…

何だい、瑞鳳

一つだけいい？



鳳翔さんとは昔、何かあったの…

艦娘がまだまだ世間で認められて無かった頃だ

ああ……余りいいお別れをしなかつたよ……

……本当に驚いたよ

何より、昔はああいう風じゃなかった……

だから、なのかも……言いたくないけど

俺が鳳翔を……変えてしまったのかと……

鳳翔はもっと……

その……純粹で綺麗な人だった

責任なんて、今更なのは……解ってたのにな……

そう……

そうなのね……



あ、帰ってきた



おみやげつ...と!

ちよつと深雪
はしたないよ...

いーじゃんよ
いきなり休んだ
提督が悪いのさ!

ハハッ...
そうだな、
悪かった

瑞鳳も...
羨ましいぜ!
畜生!



...本当に?



元々こんな
長続きするなんて
考えてなかったしな

思ったよりづぼが
ズルズルにされた
からなあ...!!

何や、少し位
イヤミ言ったって
ええやろ?

なっ...



ええよ、
アイツにウチが
掛け合つたる

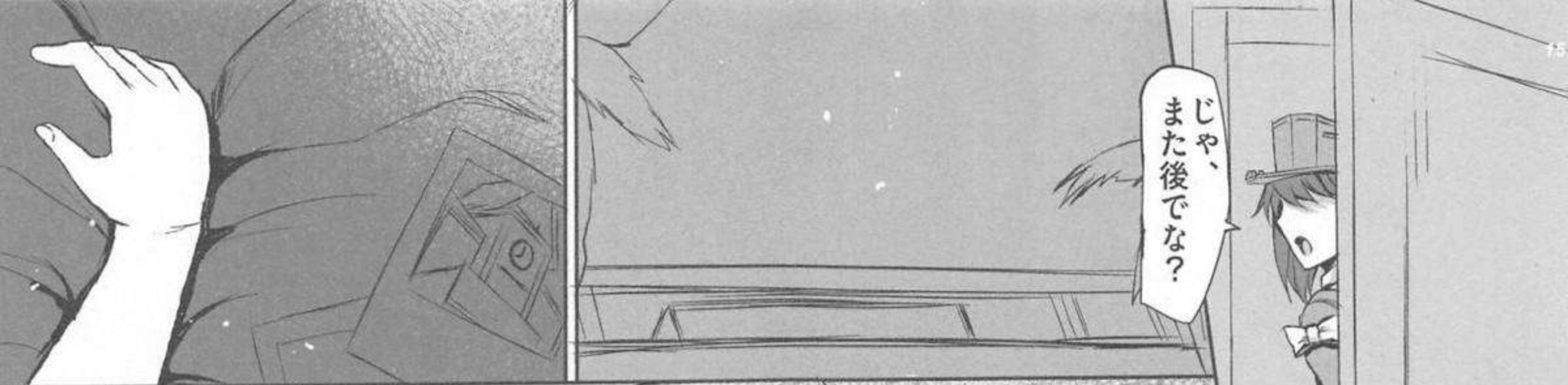
アイツとは
もう仕舞い
つて事をな



...まあ、
どつちにしろ
潮時やろ

な?

う、うん...



じゃ、
また後でな？



お



…眠り姫だな



おはよう……
艦娘が寝込みを
襲われるなんて

艦娘だ……!!

!!

艦娘
艦娘

……!!

な、何っ……

安心しすぎなんじゃ
ないのかい、瑞鳳？

づほは、簡単に
抜け出せると
思ってたのかな？

ホンマ
甘いなあ……

ウツウツ……
カクカク……

カクカク……

何でっ……
ここにっ……
入り込んでっ……!

瑞鳳、旅行は
楽しんだかい？

カクカク……

カクカク……

いなくなった
寂しかったよ……

はあ、また
適当な事
言ってる……

まさかっ……
龍驤が……
手引きしてっ……

んな事より
とりあえず
ご対面やな

抵抗しなきゃ……っ……!

はは……ホンマに
猫にマタタビでも
与えたみたいやな

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

ホラ瑞鳳ちゃんの大好物のチ○ポやで…？

今度こそ抵抗しなう…

セ…ン…

わ、凄い音しとるな…

セ…ン…

今は瑞鳳は君より濡れやすいよ

マジかい

あーあ…根元までガツツリ唾え込んで

全部台無しになっちゃうつ…

数週間でどんだけ仕込まれてるんや…

君の前では知らないが瑞鳳はかなりの積極的だからね

ホントに台無しに…

そうなんか？とんだスケベやん…

づほも良い顔になつたなあ



完璧に
メスって
感じや…

もう…

たすけ…

提督も可哀想になあ、
可愛らしい嫁さんが
まさか旅行直後に

このザマ
なんやから



身体が…
言う事効かない

じゃ、
カウントダウン
行くで…

ほら、抵抗しないと
挿入ってまうよ？

私、心に
決めたのにつ…

ははっ…
誘ってる様にしか
見えないな…瑞鳳

提督とちゃんど
やり直すって…

ハッ



カッ...カッ...カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

あ...あ...あ...

カッ...

あ...

カッ...

カッ...

ホンマに一発やな...
瑞鳳はそういう娘だからね

カッ...

...ダメな事が
大好きなのさ

...

カッ...

カッ...

カッ...

カッ...

ほら、づぼっ
もつと舐めてっ

あ

女の子同士だと
口寂しいみたいだね

苦しくてっ
わからない……

何もっ……

ははっ……
でもこれはこれで
イイ感じや……

づぼをオモチヤに
してるみたいで……っ!

うめき声
奥に響いて
たまらんっ……

なあ、づぼ……
戻れると思ったか?

聞える……けど……

——そんなワケ
ないやろ、

お前もウチも
一生このまま
壊れっぱなしや

もう、よく
わからない……

ぐちゃぐちゃで……

あ……
あ……
あ……

ズブズブ

ズブ





あら……瑞鳳
起きたみたいね

おはよう
ございます



あ……



鳳翔さんっ……
もう……許してっ……
何でこんな事っ
するの……!!

提督……あなたの事、
心配してっ……!!

あら、そっちなね



それじゃまた……
少し強くしますね

うい……
やだっ……!!



うん……

龍驤とあの男に
犯された後……

気がついたら……
こんな格好でっ

でも、あの人から
言われた事だから
……悪いわね

このオモチャ
良く効くのよ……
天井を思いつきり
刺激するから



気絶しても……
何度も……



鳳翔さんに
いじられ続けて



それと
私の前で、提督の事
あまり喋らないで
頂戴……

私……もう
おかしくなるの……



……少し、困ります

一杯味わって
下さいね

……めい

……



一番タメなのが……!

……

……

凄く柔らかい
お肉なのに……
キュツとしてて

……



……

……

食べて
しまいたい位

……

すごい反応
可愛いわ……



これ……

……

あ……頭
溶けちゃう……

……

……



今日はこれ位
かしら？

うん...
うん...
うん...

あ...おしまい？

身体に
悪いですか
ね？

今私つ、全然...
足りないって...

これからは
少しづつ、
優しくして
いきますから

なんで...
こんな事

ダメですよ...

これ位の刺激でも
気持ちよくならないと

ここでちゃんと
気持ちよく
なれないと

後が
辛いですよ？

ほら、簡単に
イけましたね...

もっと、
欲しいって...

こんなに
ゆっくり
なのに...



私の身体っ……
一体どうなってる……

NIIS

あははは……

ホラ、イッて
いいんですよ？

あははは……

これで
十分ね



解るでしょ
瑞鳳

こんなちよつと
触られただけで
身体が
無くなるみたい……

あなた、
気持ち良い事に
凄く貧欲な
身体になったのよ……



でも、
足りないっ……

全然っ……
満たされない



聞いてますか？
瑞鳳？

これで
お仕舞いです

こっちまで
いらっしやい



今の状態でも
いけない位
ゆっくりと
中身を撫で
回すだけです

あ……

もう絶対に
イかせて
あげません

でもっ……
もしかしたら
最後まで……って
考えちゃっっっ！



それでも、
欲しいですか？

我慢出来ないっっ！
ああ……コレでっ……

はい……

本気で……私の事
壊すつもりなんだ……



泣き言はダメ
貴方が受け入れた
のよ？

あ……

あ……

あ……

あ……

あ……

あ……

あ……

あ……

あ……

あ……



SPONSOR

ふふっ...

……女の子に
生まれて来た事を
後悔させてあげますね

あーっ
あーっ
あーっ



わざわざ
有難う御座います

いや、こちらは
熱いな……

他ならぬ
君からの誘いだ
十分うま味も
あるだろう



お、いたいた……



……この
部屋だな



さて……
これか？

はい、
お持ち下さい



ガ
ヤ



いつも通り
ご内密に……

ああ、
解ってる



おお……

これは何と……

今までの中でも一番の「当たり前」では……!

瑞鳳……良く聞いて

ご褒美があるわ……

明日久しぶりにあの人がこの部屋に来るから

たっぷり愛して貰いなさい

いいわね?





ああ…… やつと来てくれたっ……

おお……なんと はしたない 誘いだ……

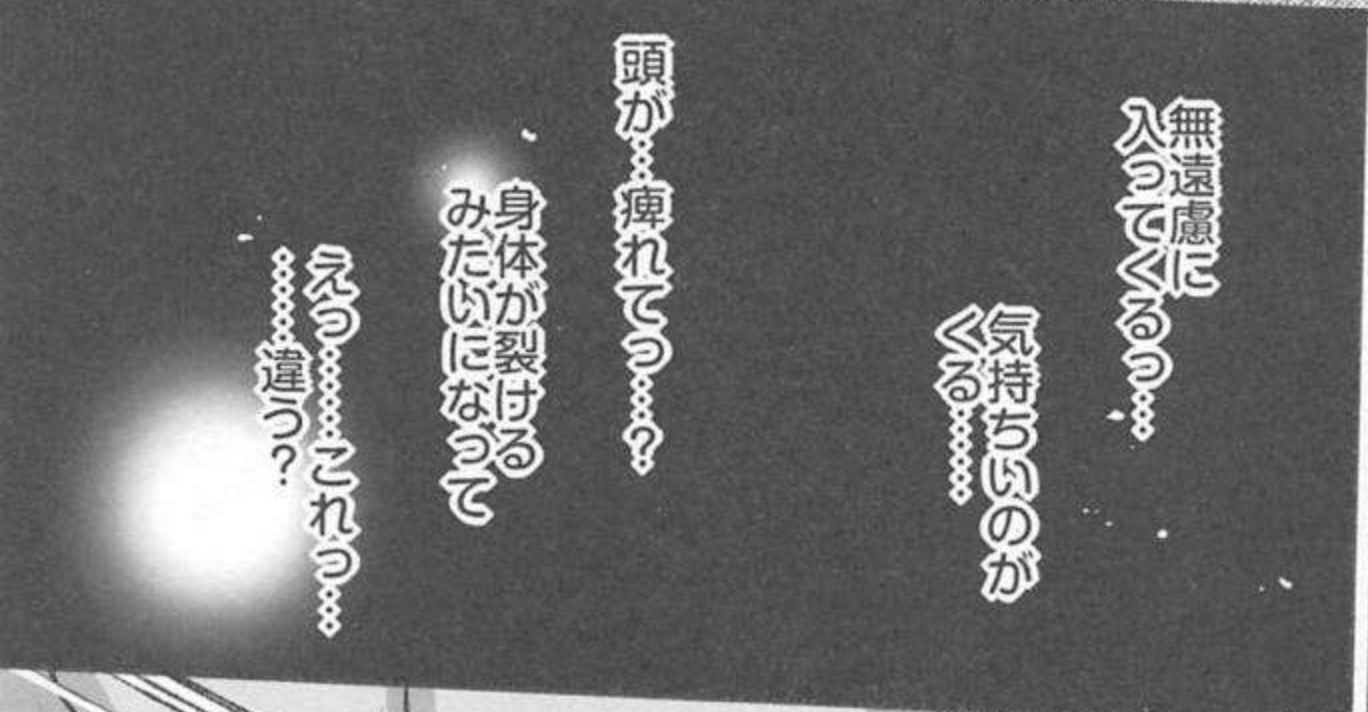
この身体で この淫乱具合……

欲しいよおっ……

早くっ…… 触っ……

こりや 堪らないな

きてっ……! 犯してっ……!



あつ……くるっ…… 当たってるっ……

それ、お望み通り たっぷり 食わせてやるぞ

雌豚め

先かっ

無遠慮に 入っ……

気持ちいのが くる……

頭が……痺れてっ……

身体が裂ける みたいになっ……

えっ……これっ…… 違っ……?



違っ……!

いつもと 絶対違っ……!

誰っ……?

誰なのっ……!

ダレ……?

おっ、うおお……!

ガッガッ

これはっ……!

アッ……!!

何これっ……

知らないのが 入っ……

絶対知らない人の
オチ○チンつ……
入っちやつてるっ！

良い具合の
穴じゃないか

何っ……

怖いっ……！

もっと
ユルいのかと
思ったが

ちやんと
吸い付いて
包んでくるっ……！

怖いよおっ！

奥はどうだ？

こんなのっ……
ヤダっ……

耐えられない

うむ……
良い反応だ……

このままだっ……！

私が私じゃ
無くなる……！！

下品な程
セックスの味を
知ってるな

この歳でポルチオの
味を占めてるんじゃ
人生お仕舞いだろうな

まあこの豚には
最高の幸せ
だろうがな……



こりや
天性の淫乱だ



ん？
何だ？
いきなり
声上げて

ダメっ……！
これ以上は



もう提督に、顔向け
できなくなるっ！

ああ、そうか
催促だな？



人間じゃない
みたいにな

足を絡めて
必死になってるな

処理される
みたいになっ
てっ！

感謝しろっ！

とりあえず
一発、キめて
やるっ！

……これで
気持ちよくなったら



誰でも何でも
良いっ……

私、本当に
最低のっ
女の子にっ……



カキカキカキカキカキ

カキ

カキ

カキ

身体も心も全部
壊れ……る……

カキ

カキ

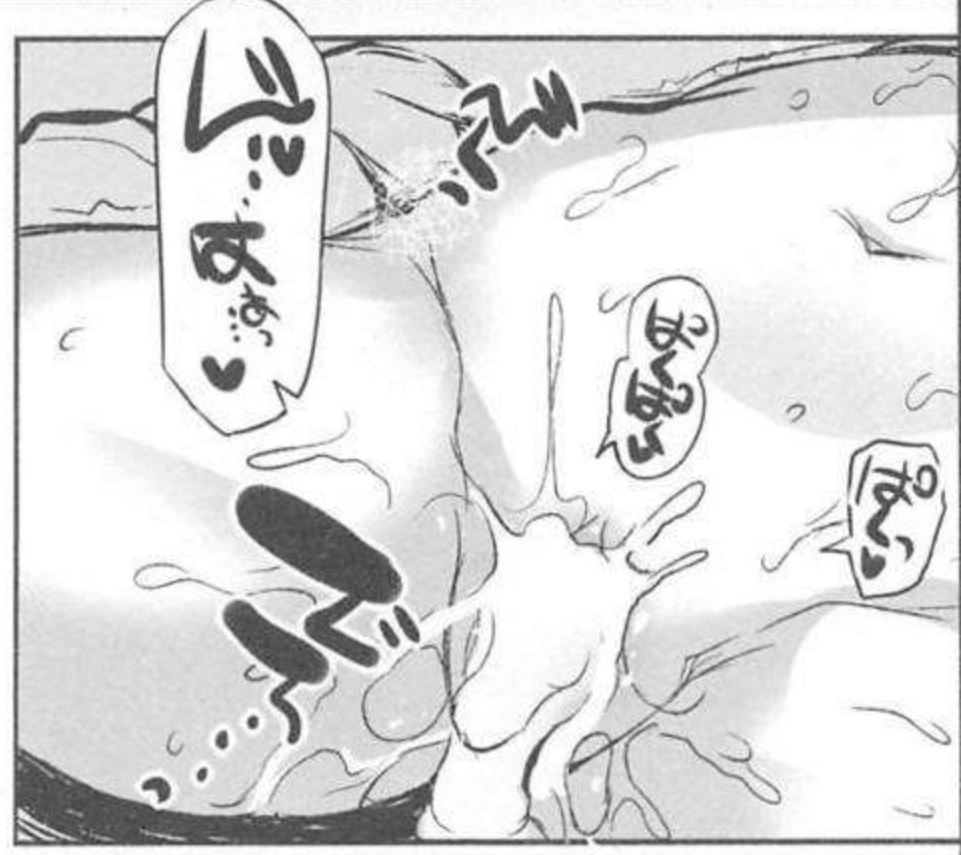
カキ

カキ

瑞鳳 入るよ、

カキ

少し
間違えて
しまったよ



これは……
手酷くやられた
みたいだね

手違いがあつてね



うん……ごめ……

こんなの
ひどい……
わよお……



そう言う割には
良い顔してるよ

瑞鳳



まあ……少しな、
しかし意外だが……

ありがとう、龍驤
これは預かっておくよ

ん、解ったで



これは……

確かに瑞鳳の
筆跡だが……



もう少し
一人の時間が
欲しいってな



おんが

アホな奴や……



何か
あつたんか？
旅行の時



ほらっ……
言うんだっ！

おんが

おんが

おんが

おんが

おんが

おんが

もう一度っ……！

おんが

おんが

そうだ、
いいぞっ……！

しかし
驚きましたな

あーっ

こんな上物の
隠し球がいるとは...

あーっ

いや、偶然です

容姿も器量も
申し分ない

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

何よりこの
淫らさ...

あーっ

ありがとうございます
ございます

それで
身請けは...?

そればかりは
本人次第
ですな

あーっ

あーっ

まだまだだぞ...

唾えろっ
そうだ...

丁重にな...

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



どれ位、この人達と
シてるんだらう……

おおっ、これは
なかなか筋が良い

もう良く
思い出せない……

ぐわんぐわん
ぐわんぐわん

ぐわんぐわん
ぐわんぐわん



良い子だ、
次は僕が
ハメてあげようね

ぐわんぐわん
ぐわんぐわん

もう、触られてない
部分は無くなって



気持ち良いんじゃないの
かい？

それは……
それは……

それに……これだけ
されてるのに足りなくて……



身体を重ねる相手が
提督じゃない事に

もう、抵抗感が
ない……

もっと
イかせて
あげるよ

フフッ……
素直じゃないね



全然
足りなくて

時には獣の様に
欲しがるのも
男心を掴むコツだよ？

グニグニ

そんなっ

グニグニ

グニグニ

グニグニ

グニグニ

未恐ろしい娘だね
これは……

イってるのに、
自分みたくに
見え無くて

この歳で
どうしようもない
セックス中毒さ

ネジが
外れちまってる

口答えか？

オラっ、
次だ！

自分がおかし
なところ、
解ってるの
怖い……

違うなら
抵抗してみろ

っ！
お、おっ！
吸われるっ！

グニグニ

グニグニ

グニグニ

グニグニ

グニグニ

グニグニ

グニグニ

グニグニ

グニグニ

グニグニ

グニグニ

グニグニ





はっ...

はっ...
はっ...
はっ...

あ...私、もう
解っちゃった...



こんな簡単な事
だったのね...

皆、私が
欲しくて...

はっ...
はっ...
はっ...



私はっ...
皆が欲しくて

それだけで
いい...



きゅん...
提督も同じ
そっゆわね...

はっ...
はっ...
はっ...



ハハハハハ

ハハハハハ

アハハハハ

ハハハハハ

これが...
しあわせ...っ！

愛し合ってる...
それだけっ...

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

♡

ハハハ

♡

ハハハ
ハハハ

ハハハ



皆、満足して
帰ったよ

瑞鳳、僕も
いいかな？

一人で
あの人数を……
大した者だ



いいよ……
瑞鳳の事
いっぱい愛してね

うんっ……





……やっと
帰ってきたかあ

おっ
づぼじゃん？

カ
ッ



お帰り……
待ってたぞ
瑞鳳



……っておい、
聞いているのか？

代わりに色々
仕事したんだから
後でなんか
おごってくれよな！



ん

ん

ん



ずいほ……

ん……
てーだいま、
とく……



ん

ん

あっ……？

えっ……！

ん

ん



おとなだ……



ず、瑞鳳……っ？

部屋に
いるから……
きて、ね？



それはっ……！



流石に
昼間からあんな事
されたら困るぞ

てーとくう
……どうして、
来てくれなかったの？

あのな
瑞鳳っ

でもお……
今なら
いいのよね



瑞鳳っ、もう
辛抱できないっ



ダメだっ！



ぐおおっ……！



たははは

うあっ……!

……

終わり……?!

終わりじゃないわよ、とくっ

……はあ、
解るわよね



きつっ

わたしね、
提督の事
大好きだから……

これは提督から私には
夢中なのね?



いっはい
ここに頂戴

瑞鳳っ!



……それで、
まだ足りなくて
ここに？

そう……なのよっ
だって、都合が
いい様になって
言っちゃいけないっ

だからっ
瑞鳳の事
愛っぱい

それじゃ、
お望み通り……っ

悪い娘だ……

それっ！

いっ……



こんなのっ…ムリい…

だっつ…わしようがないわよお…



もういったのかな随分だらしがない瑞鳳？



そいういえばこの間の連中がまた君に会いたがってるよ

そう、なんだ…瑞鳳の事、気に入ってくれたのかな？

そのようだ…瑞鳳どうする？



それはあひみつっ…

…それでも身体の反応でバレバレだな

下の方面が早い方な瑞鳳は

そうっ…かもお…



大好きっ……!

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ



おお……
見事に……

もっとっ!
私のナカっ
もっといほじほじ
していいよっ……

アハハ
アハハ



結構出たねえ……
今までで一番だ

負けたか……

一番出させた人が
一晩中独り占めで
いいんだね?

……うん
私のことっ
好きにして……

アハハ
アハハ

アハハ

アハハ

アハハ



お前は反応するな



最後は俺か、いくぞ?

きてっ! はやくう...

そう焦るなよっ



それはあ...



俺が飼ってやる悪い条件じゃないぞ?

身請けの話はどうだっ...?



覚悟しろよ!

ハハッ 雌豚が一丁前に言うじゃねえか

もっと私を滅茶苦茶にしてくれたらあ...

考えるかもねっ



わかったから!

絶対にお前の口から飼わせてやるぞ!!

奥まで頂戴っ...

クッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ



おおッ!

クッ...

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ



昨日は瑞鳳だった?



これ...大好きっ

グッ

グッ

グッ

クッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ





今日はあ
普通にす
前に後ろも
いじってみて

瑞鳳、何て
格好だ...

てーとく...
似合う??

こう...か?

っ!大丈夫か
瑞鳳!

大丈夫っ...
やさしく
いじめてね

大好きっ...

瑞鳳っ...

んっ...
感じな...

い、いきなり
そう言われてもっ

いいからっ...

キス...

キス...

てーとくっ
イイよっ...

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

……こんなのを
えげつないで
突っ込んで

いやらしい
雌だな……

だってっ、早く
皆とお尻の方でもっ
愛し合いたいからっ……

それは嬉しいね……
まあ、この調子なら
直ぐに出来る上がるな

だって
仕方ないのっ

それっ!

酷い声だな
豚だつて
もつと節度
あるぜ?







いいだろう？
行くよ瑞鳳？

うんっ...

バリッ...

カッ
バリッ
バリッ

カキッ
カキッ

あつ...
大きいのがっ...
入っで

まずは
ゆっくり...

バリッ
バリッ

バリッ
バリッ

カキッ
カキッ

これなら
大丈夫そうだ

あ...

私のダメな所まで
入っでっ...!!

バリッ
バリッ

バリッ
バリッ

カキッ
カキッ

どうだい、
瑞鳳？

これっ！穴がっ
削れちゃうっ...

バリッ
バリッ

カキッ
カキッ

バリッ
バリッ

バリッ
バリッ

バリッ
バリッ

それがっ
堪らないよあっ！

バリッ
バリッ

バリッ
バリッ

バリッ
バリッ
バリッ
バリッ
バリッ
バリッ



でもっ凄く
幸せッ……



中々いい
具合だよ
瑞鳳……!

私の中がっ
引きずり
出されて……
壊されちゃっ……!



好きっ……!



もっと……
欲しくなるっ……!



こっちもお……
はやく……!



前の方も
一緒にシたら
どうなるかな?

いい子だ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

どいまで...
滅茶苦茶に
壊して...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

最高...

あ...



そろそろっ…
終わりにしたら
どうだい？

むりなのっ……



ああ、もつと…
イイ事したいっ！

瑞鳳？

もう、夢中で
聞えてないな

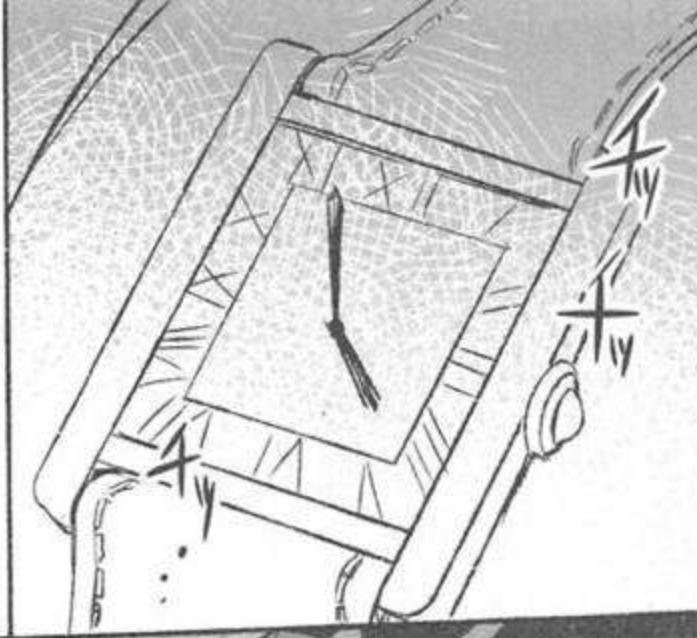


ステキな事を
もつとっ！



おかしいな、
流石に遅すぎる

何をしてるんだ
瑞鳳……



おじさま……
私のオ○ンコ
気持ち良かった？

ああ、相変わらず
最高だよ

良かったあ……

次は誰が
気持ちよくして
くれるの？

提督ごめんね……

ハハッ、
欲張りな子だ

まだ足りないのっ
終わったら
ちゃんと帰るから



なかなか
似合ってるねえ

穴を開けるのは
ダメらしいが
クリップだから

その内ピアスに
してやるよ



グキョウ

あっ……

グキョウ

グキョウ

グキョウ

グキョウ

グキョウ

さて、不安そうだが、そろそろ練習の成果を見せて貰うかな



おっ……吸い付いて

グキョウ

グキョウ

グキョウ

グキョウ

あ……お尻のあなたっ……オマ○コといっしょに穿られちゃうっ……



きたっ

なんと……こんな小さい身体で……

素晴らしいっ

凄いのっきたあ……

ハハッ……随分嬉しそうだな

グキョウ

グキョウ

グキョウ

グキョウ

グキョウ

グキョウ

グキョウ



どうだい？
感想は？

すごいっ……
すごいのおっ！

それにしても
凄い反応だな

なあに、
この淫乱には
これでも
もの足りないだろ

両方ゴリゴリっ
凄く、イイ……

ズンズン
ズンズン
ズンズン

ズンズン
ズンズン
ズンズン

ズンズン
ズンズン
ズンズン

ズンズン
ズンズン
ズンズン



この上子種を
強請るとは、
なんて悪い子だっ……！

もっど
最高に……

気持ちいい事
シたいよお……！

いいぞ、そのまま
壊れちまいなっ！

オラッ……！

ズンズン
ズンズン
ズンズン

ズンズン
ズンズン
ズンズン

ズンズン
ズンズン
ズンズン

ハッパッパッパッ

ハッパッパッ

ハッパッパッ

欲しい……っ
ももっと
欲しいよお……

滅茶苦茶に
なりたいつ……

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ





おじやま、
します…

ガ
ブツ

あら？
今日はあの人は
いませんよ

知ってる
わよね？

…はい



その…料理、
教えて貰いたくて

あらしい…
珍しい…

あ、その…
気晴らしに

あれだけ毎日
グチャグチャに
してれば疲れて
当然ね…
いいですよ

それじゃ、
お願いします…

わんわん

きんきん



4



どう……？
気持ちいいかい？

あーっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ



あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ



愛してるって……
言ってるっ！

ああ……
愛してるよ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あーっ……

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

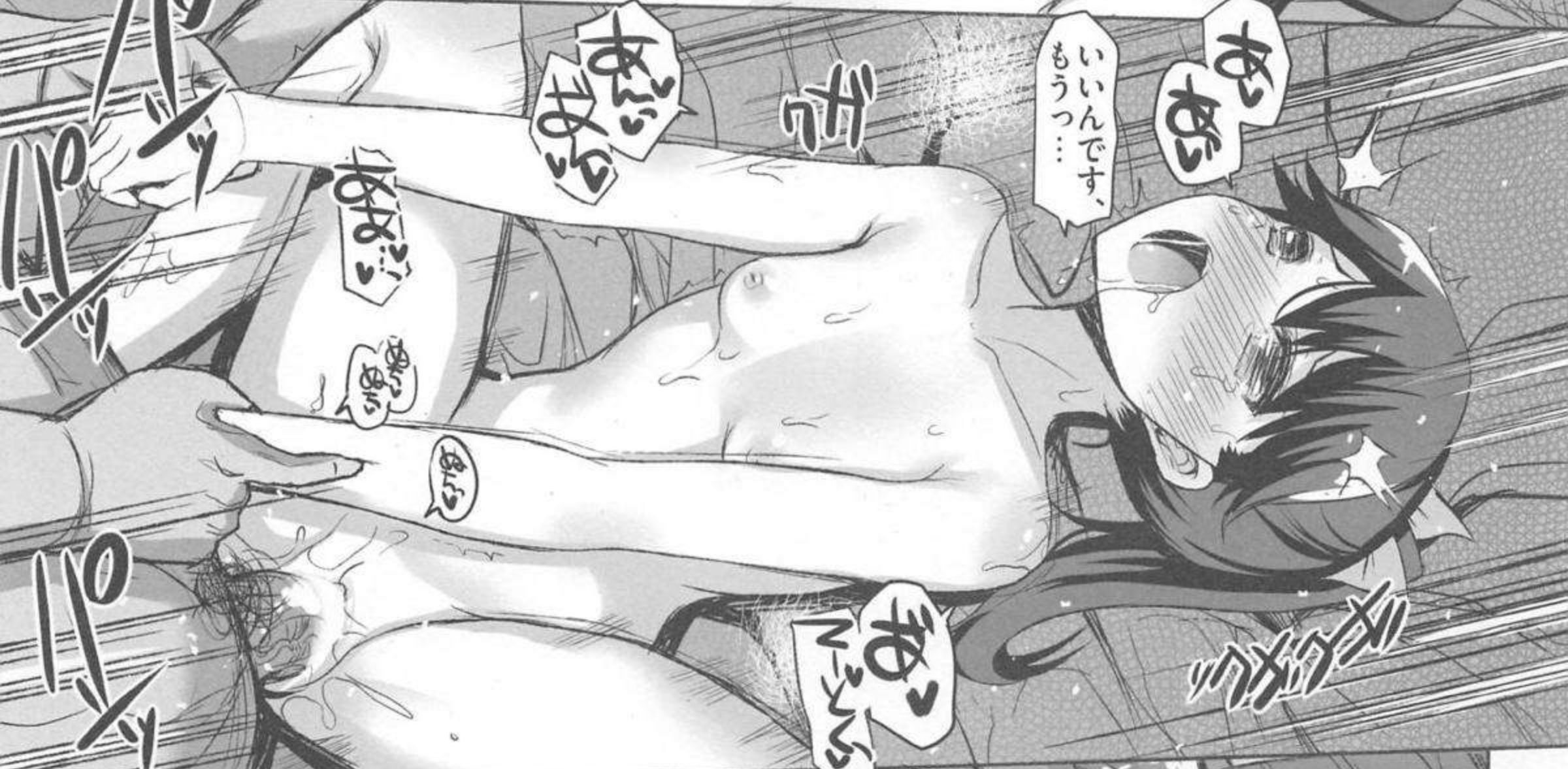


愛してる、
鳳翔っ…

あ…っ
提督っ！

私っ、やっぱり
嬉しいっ…

あの時は本当に、
済まなかったっ…！



いいんです、
もうっ…

あ…っ
あ…っ

あ…っ
あ…っ

あ…っ
あ…っ

あ…っ
あ…っ

あ…っ
あ…っ

あ…っ
あ…っ



コレ…っ
すいっ…
いっ…
っ…



あ…っ
あ…っ

あはっ…
やっぱり、
そっなんだ…



私なんか、
いないみたい
に、提督と、
鳳翔さんが

素敵ですっ…

本気で
愛し合ってるの、
解るっ…!!

優しいけど、
抑えこんで
みたい

私も何度も
されたからっ…
良く、知ってる

提督、
もうっ…

愛してるっ…



だからっ…
私が、凄く惨めで

前に見た時
みたいに、
酷くドキ
ドキするっ…!!

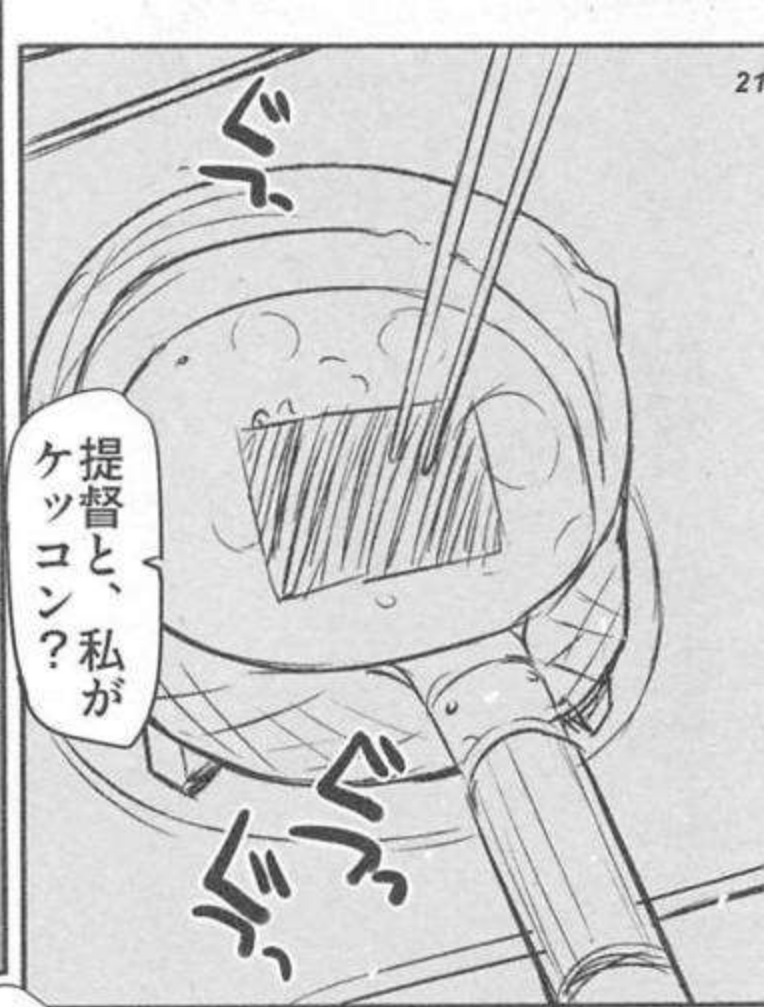
やっぱり、
言ってる
正解だった…

…



別に一人……と
決められてる
ワケじゃないので

どうですか？



提督と、私が
ケツコン？



それをして、
アナタに何の
利があるの……？



だから、
一緒に……



鳳翔さんの事
やっぱり心配
してるみたいです

それに、
提督



私じゃできない、
お願いしたい事が
あるんです



勿論、あります



ドアの間から
見の時...
あたいに...

提督っ...
動き早くなってる

提督と鳳翔さんが
愛し合ってる所
見せて下さい...

射精しちゃった



根元まで...
鳳翔さんの奥に
オ○ンコで
突き込んで

注ぎ込め...



あ...
す...
い...
私...
それ...
悔...

鳳翔っ...!

暗い気持ち
な...
その事...

私... 提督が
好きなんだから...
思...



瑞鳳っ…

提督…
みてっ

提督と鳳翔さんが
シてるの見てる
だけで…

オマ○コ…
こんな
濡れちゃったの

瑞鳳は…
こんなので、
興奮する悪い子
なのっ…!!



私、本当に最低の
女の子なのっ…

それでもっ、
お願いだから…

そほほほほ…





瑞鳳っ……!

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

提督がつ……
いつもより
乱暴で

おっ

はこんなの
はじめて……



お前はっ……
なんて悪い子だっ!

鳳翔まで
巻き込んでっ……

自分が……
気持ちよく
なる為にっ!

おっ
そうっ……
なのおっ!

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

そうじゃないと
もっ...自分
耐えられないっ



きっと私は一生、
ここ数週間の事を
言い出せない



ダメな女って
言いたいっけ...
欲しいっけ...!

だから代わりにっ
これからするっけ
私の事を...



まだまだっ...



ああっ……!!

凄くキツいっ!

キツ

キツ

キツ

キツ

キツ

キツ



嬉しいよあつ……

こんな私でも、提督はまるで欲しがってる……!

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ



まだっ…… 激しくなるのっ??

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ



て、提督っ

どうした?

アツ

アツ

アツ

アツ



ごめん……ね

瑞鳳？

謝る事なんて
何もないだろ……！

うん……
……うん……
……ありがと



やっぱり私、
最低だ……
私の事、
ちやんと言じて

愛し合ってる人に
ウツをついてるだけで

瑞鳳、
もうっ……！



それだけで
ゾクゾクするっ……！

うん……

うん……



たったっ

たっ

たったっ...

たったっ

たったっ

たったっ

たっ

たったっ

たったっ

最高なのっ...

たったっ

それでも
それが...

たっ



っ...!!
吸い込まれてっ!!

たったっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たったっ

たっ

たったっ

たっ



もう、無理だっ……

あー…

提督、頑張りましたね…

あはっ…
今までで、一番
よかったかも…

それは…
どうも



お、
やっぱりここに
おったか

…はあ



……合わす
顔が無いのさ

手紙一枚で済ます
なんて、鳳翔も
薄情な奴やな

や、これに
お前さんに



それでお前は
どうしたんだ？

まさか、上手く
行き過ぎて
失敗するとはね……



ああ……
ウチは鎮守府
辞めてきた

代わりとしては
鳳翔がいれば
十分やろ

アంతタに暫く
ついて行くわ



……本気か？

モチのロンや

アంతタは
クズだけど……

つられた後に、
慰められたのは
本当だし？

……提督にか





今日から
龍驤の代わりに
鎮守府に入った
鳳翔だ

自分とは
旧知の仲だ

皆、宜しく頼む



それで、鳳翔には
瑞鳳と交代で秘書艦を
やってもらう

えっ…



ねえ…
その…瑞鳳は
いいの？

秘書艦、
代わったりとか

…今まで絶対に
させなかったじゃん

うん…
もういいの

私、ちゃんとして
愛されてるって
解ったから

そう……なの？

もう、大丈夫

——龍驤、君も
言ってただろう？

ん？

それに、
鳳翔さんと
二人でなら

きつと、もっと
楽しくなるわよ……っ

結局……
壊れたものは
壊れたものは

ぽんぽん……

ぽんぽん
ぽんぽん

ぽんぽん……

INST
ADULT ONLY

TITLE : ZUIHOU COMP.
CIRCLE : INST
AUTHOR : Interstellar
DATE : 18/08/13
PRINT : Ueno Printing Co., Ltd
WEB : <http://instovdr.sakura.ne.jp/>
MAIL : instovdr@hotmail.com